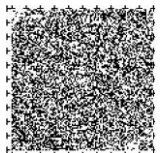


第2章

仕事や家庭、ワーク・ライフ・バランスに 関することがらについて



第2章 仕事や家庭、ワーク・ライフ・バランスに関することからについて

問4.【配偶者・パートナーと同居している方におたずねします】

あなたのご家庭では、次にあげるような家庭内の仕事を、主にどなたがしていますか。

(ア) から (ケ) のそれぞれについて、あてはまるものを1つずつ選び○印をつけてください。

※“妻中心”：「主に妻が行っている」と「主に妻が行い、夫が一部を分担している」をあわせたもの

※“夫中心”：「主に夫が行っている」と「主に夫が行い、妻が一部を分担している」をあわせたもの

(ア) 生活費を得る

「主に夫が行い、妻が一部を分担している」の割合が36.5%と最も高く、次いで「主に夫が行っている」の割合が29.7%、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合が23.5%となっています。

性別でみると、“夫中心”の割合は、女性が68.9%、男性が63.4%で、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、男性が27.1%、女性が20.6%となっています。

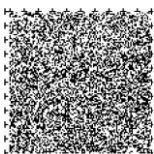
性・職業別でみると、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、正規雇用労働者（会社員・公務員など）では女性が51.1%、男性が24.4%、非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）では男性が38.7%、女性が10.1%であり、“夫中心”の割合は、正規雇用労働者（会社員・公務員など）では男性が68.1%、女性が33.4%、非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）では女性が84.5%、男性が51.6%となっています。

性・配偶者職業別でみると、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、配偶者が正規雇用労働者（会社員・公務員など）である男性が54.7%、女性が22.8%、配偶者が非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）である男性が17.5%、女性が10.7%であり、“夫中心”の割合は、配偶者が正規雇用労働者（会社員・公務員など）である女性が71.4%、男性が37.3%、配偶者が非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）である女性が75.0%、男性が70.8%となっています。

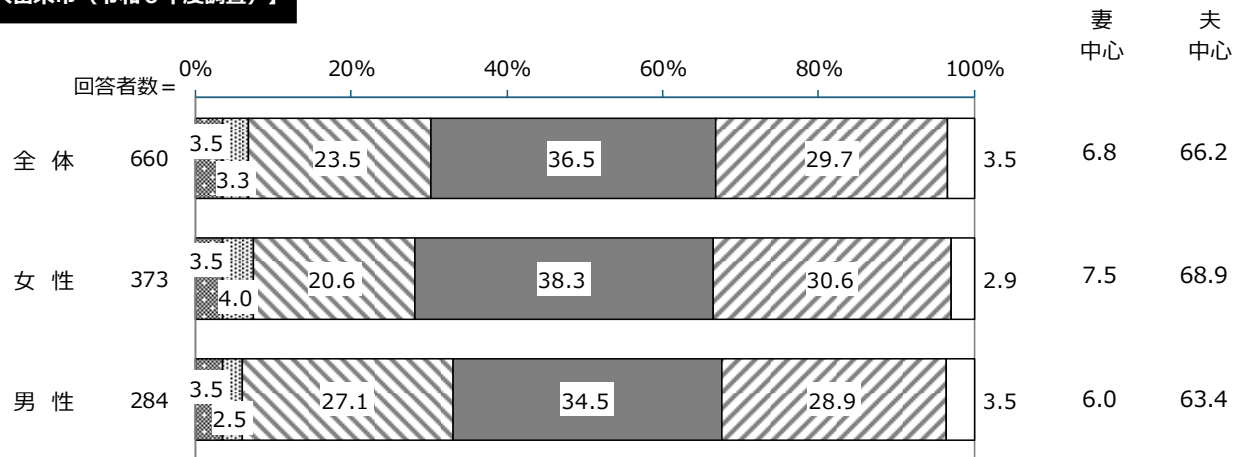
固定的性別役割分担意識別でみると、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、「同感しない」が32.5%、「あまり同感しない」が18.6%、「ある程度同感する」が15.3%、「同感する」が7.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると、“夫中心”の割合は、女性では2.1ポイント増加、男性では8.4ポイント減少しています。「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、男性が4.9ポイント増加、女性が3.5ポイント減少しています。

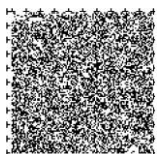
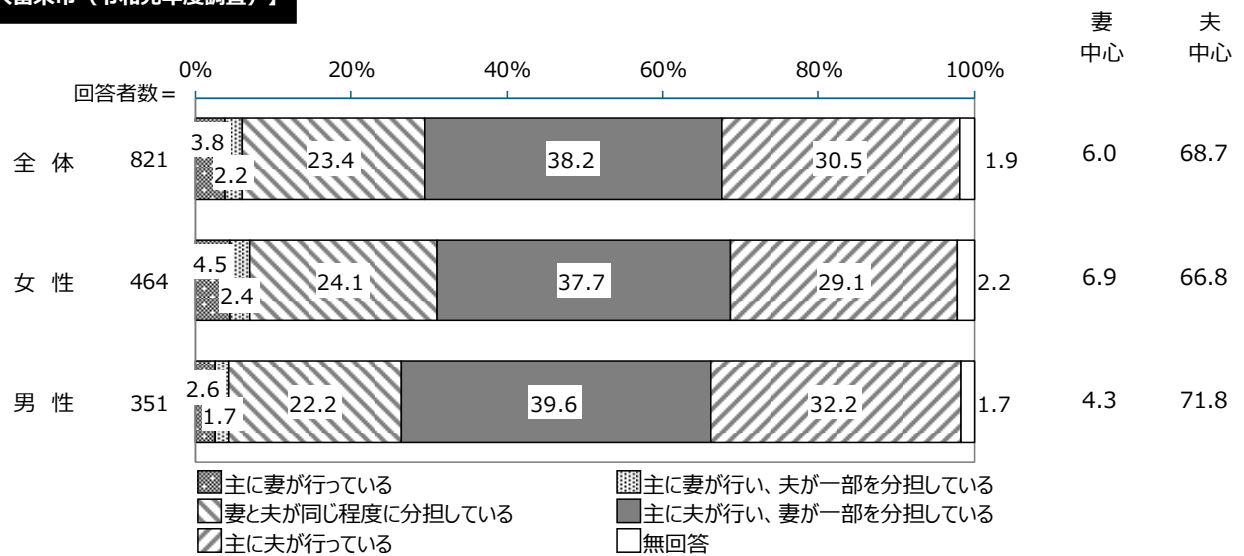
※性・職業別、性・配偶者の職業別、固定的性別役割分担別集計…P160・161



【久留米市（令和6年度調査）】



【久留米市（令和元年度調査）】



（イ）炊事、掃除、洗濯などの家事をする

「主に妻が行っている」の割合が41.1%と最も高く、次いで「主に妻が行い、夫が一部を分担している」の割合が38.2%となっています。

性別でみると、“妻中心”の割合は、女性が82.8%、男性が75.0%で、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、男性が18.3%、女性が13.7%となっています。

性・職業別でみると、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、正規雇用労働者（会社員・公務員など）では男性が25.0%、女性が24.4%、非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）では女性が9.3%、男性が6.5%であり、“妻中心”の割合は、正規雇用労働者（会社員・公務員など）では女性が71.1%、男性が68.8%、非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）では男性が90.3%、女性が88.3%となっています。

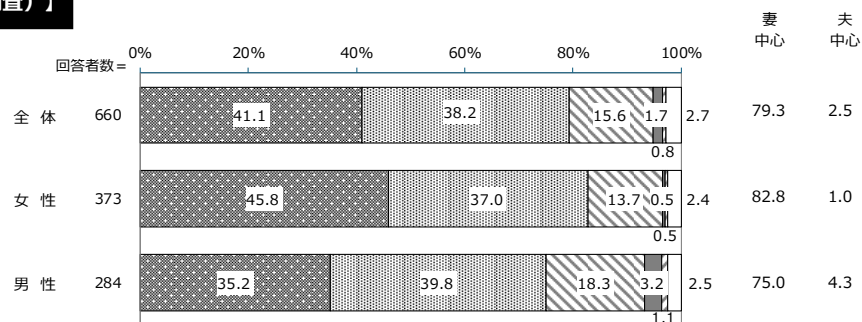
性・配偶者職業別でみると、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、配偶者が正規雇用労働者（会社員・公務員など）である男性が30.7%、女性が12.9%、配偶者が非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）である男性が20.4%、女性が14.3%であり、“妻中心”の割合は、配偶者が正規雇用労働者（会社員・公務員など）である女性が84.4%、男性が58.6%、配偶者が非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）である女性が78.6%、男性が75.7%となっています。

固定的性別役割分担意識別でみると、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、「同感しない」が22.5%、「同感する」が15.4%、「あまり同感しない」が11.3%、「ある程度同感する」が8.7%となっています。

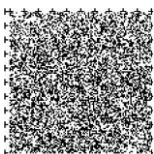
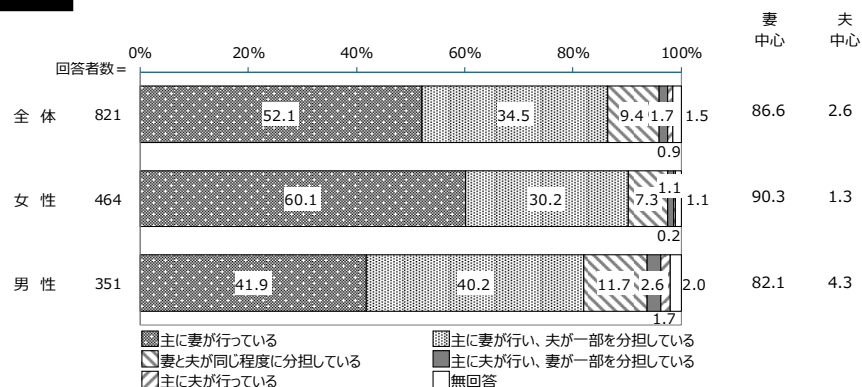
令和元年度調査と比較すると、男女ともに「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合が約6.0ポイント増加し、“妻中心”の割合は、男女ともに約7.0ポイント減少しています。

※性・職業別、性・配偶者の職業別、固定的性別役割分担意識別集計…P162・163

【久留米市（令和6年度調査）】



【久留米市（令和元年度調査）】



(ウ) 日々の家計を管理する W

「主に妻が行っている」の割合が 49.8%と最も高く、次いで「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合が 16.4%、「主に妻が行い、夫が一部を分担している」の割合が 14.4%となっています。

性別でみると、「妻中心」の割合は、女性が 66.2%、男性が 61.9%で、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、男性が 16.5%、女性が 16.4%となっています。

性・職業別でみると、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、正規雇用労働者（会社員・公務員など）では女性が 27.8%、男性が 18.1%、非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）では女性が 12.4%、男性が 6.5%であり、「妻中心」の割合は、正規雇用労働者（会社員・公務員など）では男性が 59.4%、女性が 56.7%、非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）では男性が 87.1%、女性が 72.1%となっています。

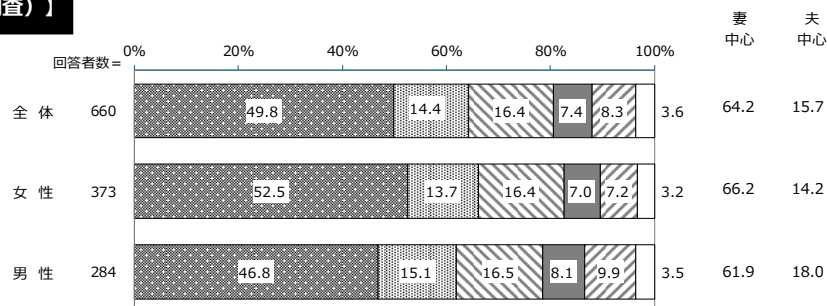
性・配偶者職業別でみると、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、配偶者が正規雇用労働者（会社員・公務員など）である男性が 21.3%、女性が 20.5%、配偶者が非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）である男性が 17.5%、女性が 14.3%であり、「妻中心」の割合は、配偶者が正規雇用労働者（会社員・公務員など）である女性が 65.6%、男性が 56.0%、配偶者が非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）である男性が 65.0%、女性が 64.3%となっています。

固定的性別役割分担意識別でみると、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、「同感する」が 30.8%、「同感しない」が 19.9%、「あまり同感しない」が 15.4%、「ある程度同感する」が 9.3%となっています。

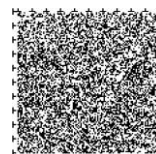
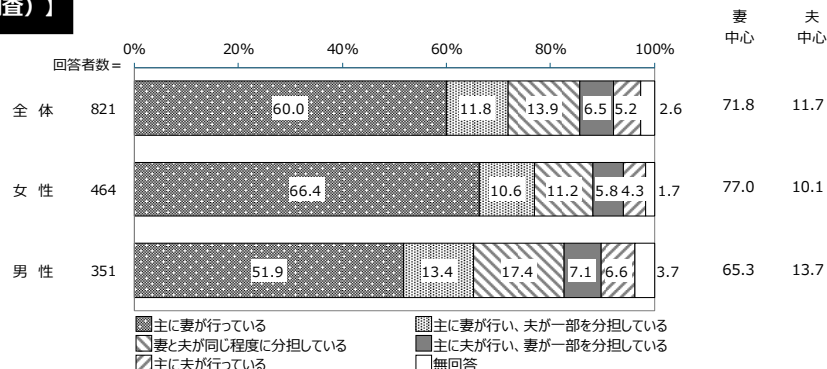
令和元年度調査と比較すると、「妻中心」の割合は、女性では 10.8 ポイント、男性では 3.4 ポイント減少しています。「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、女性では 5.2 ポイント増加、男性では 0.9 ポイント減少しています。

※性・職業別、性・配偶者の職業別、固定的性別役割分担別集計…P164・165

【久留米市（令和6年度調査）】



【久留米市（令和元年度調査）】



(エ) 育児、子どものしつけをする

「主に妻が行い、夫が一部を分担している」の割合が 32.3%と最も高く、次いで「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合が 27.3%、「主に妻が行っている」の割合が 26.2%となっています。

性別でみると、“妻中心”の割合は、女性が 60.6%、男性が 56.0%で、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、男性が 29.2%、女性が 26.0%となっています。

性・職業別でみると、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、正規雇用労働者（会社員・公務員など）では女性が 33.3%、男性が 29.4%、非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）では女性が 30.2%、男性が 22.6%であり、“妻中心”の割合は、正規雇用労働者（会社員・公務員など）では男性が 58.8%、女性が 51.1%、非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）では女性が 62.0%、男性が 61.3%となっています。

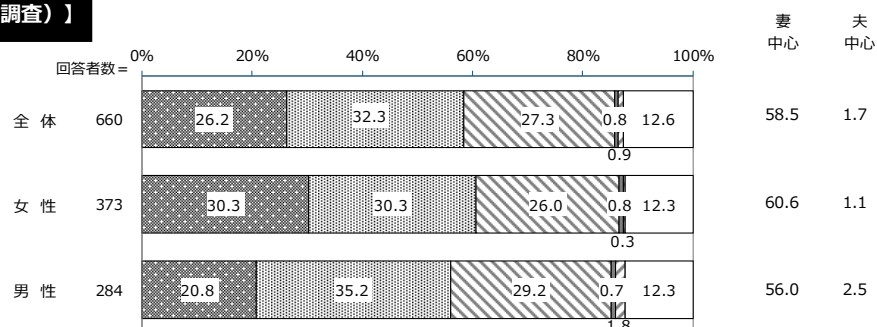
性・配偶者職業別でみると、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、配偶者が正規雇用労働者（会社員・公務員など）である男性が 45.3%、女性が 30.8%、配偶者が非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）である男性が 26.2%、女性が 21.4%であり、“妻中心”の割合は、配偶者が正規雇用労働者（会社員・公務員など）である女性が 59.8%、男性が 45.3%、配偶者が非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）である男性が 59.2%、女性が 53.5%となっています。

固定的性別役割分担意識別でみると、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、「同感しない」が 33.2%、「あまり同感しない」が 23.5%、「ある程度同感する」が 23.3%、「同感する」が 7.7%となっています。

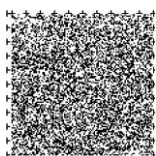
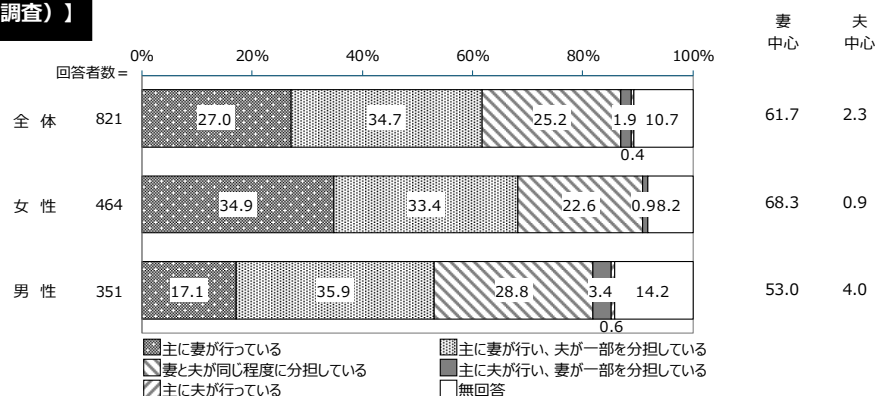
令和元年度調査と比較すると、“妻中心”の割合は、女性では 7.7 ポイント減少、男性では 3.0 ポイント増加しています。「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、女性では 3.4 ポイント、男性では 0.4 ポイント増加しています。

※性・職業別、性・配偶者の職業別、固定的性別役割分担別集計…P166・167

【久留米市（令和6年度調査）】



【久留米市（令和元年度調査）】



（オ）親などの世話（介護）をする

「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合が 36.2%と最も高く、次いで「主に妻が行っている」が 19.4%、「主に妻が行い、夫が一部を分担している」が 16.1%となっています。

性別でみると、“妻中心”の割合は、女性が 39.5%、男性が 30.2%で、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、男性が 37.7%、女性が 35.4%となっています。

性・職業別でみると、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、正規雇用労働者（会社員・公務員など）では男性が 47.5%、女性が 41.1%、非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）では女性が 36.4%、男性が 22.6%であり、“妻中心”の割合は、正規雇用労働者（会社員・公務員など）では女性が 25.5%、男性が 23.2%、非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）では女性が 46.5%、男性が 42.0%となっています。

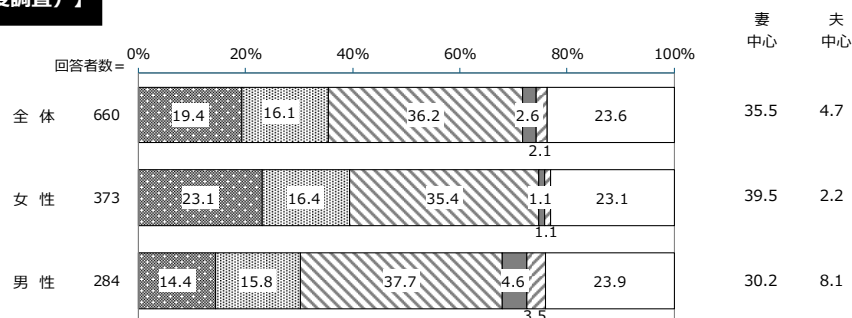
性・配偶者職業別でみると、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、配偶者が正規雇用労働者（会社員・公務員など）である女性が 43.3%、男性が 41.3%、配偶者が非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）である女性が 32.1%、男性が 32.1%であり、“妻中心”の割合は、配偶者が正規雇用労働者（会社員・公務員など）である女性が 31.7%、男性が 24.0%、配偶者が非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）である女性が 42.9%、男性が 27.2%となっています。

固定的性別役割分担意識別でみると、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、「同感しない」が 41.7%、「ある程度同感する」が 38.0%、「あまり同感しない」が 29.4%、「同感する」が 23.1%となっています。

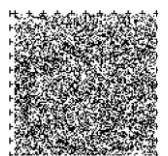
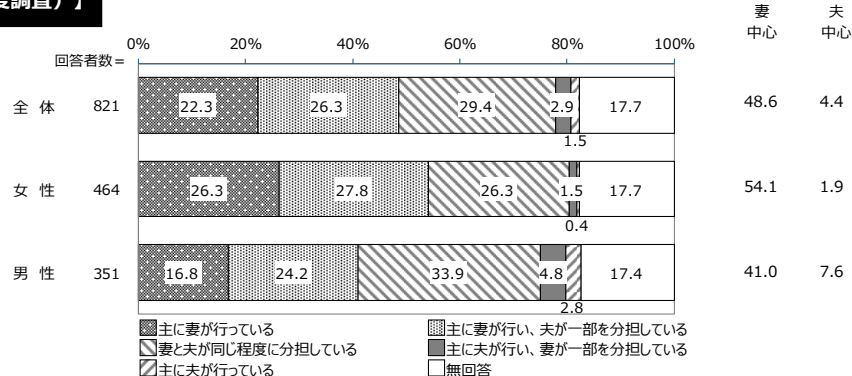
令和元年度調査と比較すると、“妻中心”の割合は、女性では 14.6 ポイント、男性では 10.8 ポイント減少しています。「妻と夫が同じ程度に負担している」の割合は、女性では 9.1 ポイント、男性では 3.8 ポイント増加しています。

※性・職業別、性・配偶者の職業別、固定的性別役割分担別集計…P168・169

【久留米市（令和6年度調査）】



【久留米市（令和元年度調査）】



（カ）自治会・町内会などの地域活動を行う

「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合が 24.4%と最も高く、次いで「主に妻が行っている」が 21.7%となっている。

性別でみると、“妻中心”の割合は、女性が 42.6%、男性が 31.7%で、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、男性が 26.8%、女性が 22.8%となっています。

性・職業別でみると、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、正規雇用労働者（会社員・公務員など）では男性が 29.4%、女性が 24.4%、非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）では女性が 25.6%、男性が 19.4%であり、“妻中心”の割合は、正規雇用労働者（会社員・公務員など）では女性が 35.6%、男性が 30.6%、非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）では女性が 46.5%、男性が 32.3%となっています。

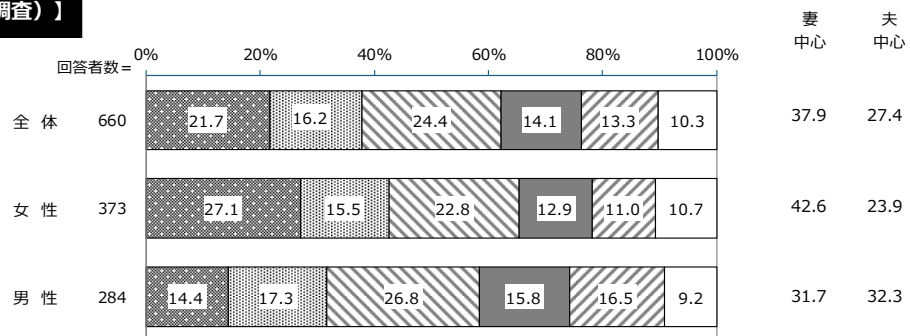
性・配偶者職業別でみると、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、配偶者が正規雇用労働者（会社員・公務員など）である男性が 37.3%、女性が 25.9%、配偶者が非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）である男性が 25.2%、女性が 21.4%であり、“妻中心”の割合は、配偶者が正規雇用労働者（会社員・公務員など）である女性が 42.9%、男性が 24.0%、配偶者が非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）である男性が 36.9%、女性が 35.8%となっています。

固定的性別役割分担意識別でみると、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、「同感しない」が 27.7%、「ある程度同感する」が 24.7%、「あまり同感しない」が 21.3%、「同感する」が 0.0%となっています。

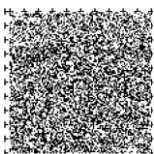
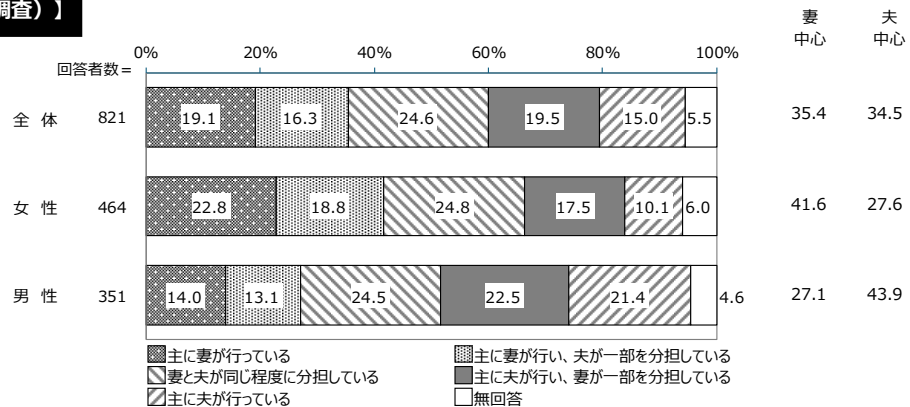
令和元年度調査と比較すると、“妻中心”の割合は、女性では 1.0 ポイント、男性では 4.6 ポイント増加しています。「妻と夫が同じ程度に負担している」の割合は、女性では 2.0 ポイント減少、男性では 2.3 ポイント増加しています。

※性・職業別、性・配偶者の職業別、固定的性別役割分担別集計…P170・171

【久留米市（令和6年度調査）】



【久留米市（令和元年度調査）】



(キ) 保育所・幼稚園・学校等の行事や活動に参加する

「主に妻が行っている」の割合が 31.1%と最も高く、次いで「主に妻が行い、夫が一部を分担している」の割合が 28.8%、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合が 21.1%となっています。

性別でみると、「妻中心」の割合は、女性が 67.0%、男性が 50.7%で、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、男性が 28.9%、女性が 15.3%となっています。

性・職業別でみると、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、正規雇用労働者（会社員・公務員など）では男性が 33.8%、女性が 24.4%、非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）では女性が 10.9%、男性が 9.7%であり、「妻中心」の割合は、正規雇用労働者（会社員・公務員など）では女性が 57.8%、男性が 53.1%、非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）では女性が 78.3%、男性が 48.4%となっています。

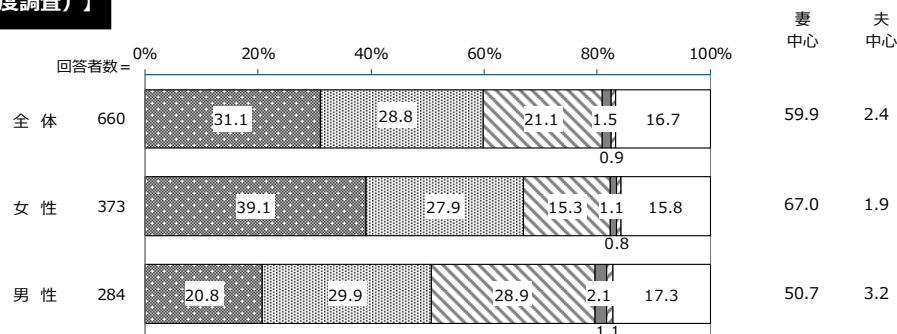
性・配偶者職業別でみると、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、配偶者が正規雇用労働者（会社員・公務員など）である男性が 38.7%、女性が 18.3%、配偶者が非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）である男性が 27.2%、女性が 7.1%であり、「妻中心」の割合は、配偶者が正規雇用労働者（会社員・公務員など）である女性が 68.8%、男性が 44.0%、配偶者が非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）である女性が 67.8%、男性が 56.3%となっています。

固定的性別役割分担意識別でみると、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、「同感しない」が 23.2%、「あまり同感しない」が 21.3%、「ある程度同感する」が 18.0%、「同感する」が 7.7%となっています。

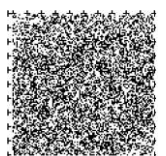
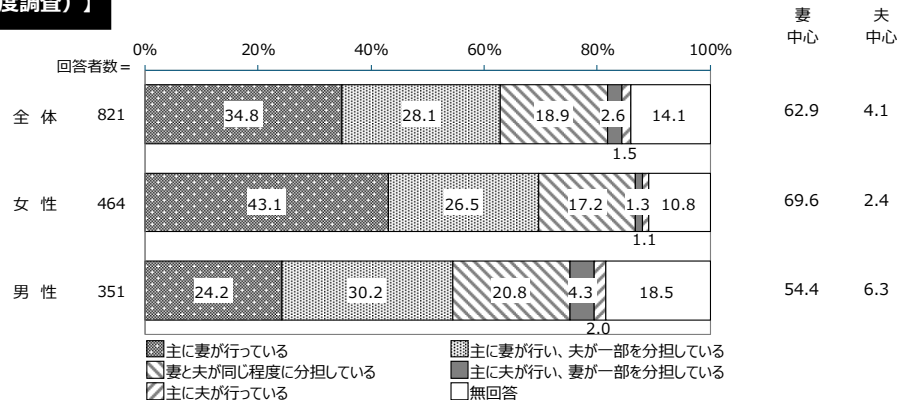
令和元年度調査と比較すると、「妻中心」の割合は、女性では 2.6 ポイント、男性では 3.7 ポイント減少しています。「妻と夫が同じ程度に負担している」の割合は、女性では 1.9 ポイント減少、男性では 8.1 ポイント増加しています。

※性・職業別、性・配偶者の職業別、固定的性別役割分担別集計…P172・173

【久留米市（令和6年度調査）】



【久留米市（令和元年度調査）】



(ク) 子どもの教育方針や進学目標を決める

「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「主に妻が行い、夫が一部を分担している」が 19.8%、「主に妻が行っている」が 13.8%となっています。

性別でみると、“妻中心”の割合は、女性が 39.5%、男性が 26.0%で、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、男性が 52.1%、女性が 42.1%となっています。

性・職業別でみると、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、正規雇用労働者（会社員・公務員など）では男性が 58.8%、女性が 45.6%、非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）では男性が 41.9%、女性が 41.1%であり、“妻中心”の割合は、正規雇用労働者（会社員・公務員など）では女性が 36.7%、男性が 26.3%、非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）では女性が 46.5%、男性が 25.9%となっています。

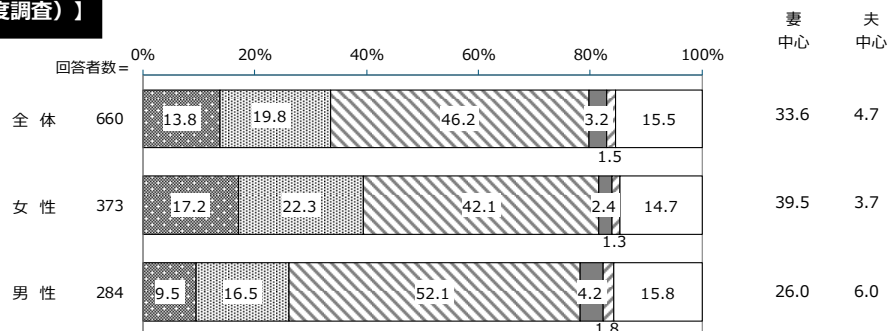
性・配偶者職業別でみると、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、配偶者が正規雇用労働者（会社員・公務員など）である男性が 66.7%、女性が 41.5%、配偶者が非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）である男性が 50.5%、女性が 39.3%であり、“妻中心”の割合は、配偶者が正規雇用労働者（会社員・公務員など）である女性が 45.5%、男性が 17.4%、配偶者が非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）である女性が 32.2%、男性が 32.1%となっています。

固定的性別役割分担意識別でみると、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、「あまり同感しない」が 48.0%、「ある程度同感する」が 47.3%、「同感しない」が 45.8%、「同感する」が 15.4%となっています。

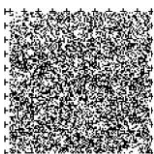
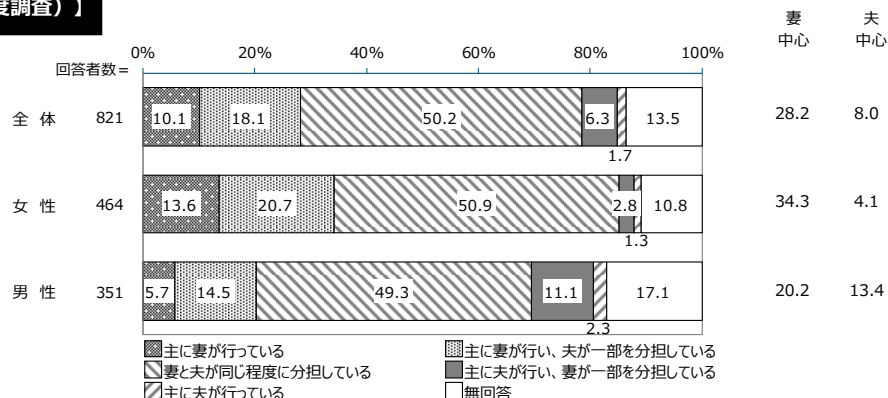
令和元年度調査と比較すると、“妻中心”の割合は、女性では 5.2 ポイント、男性では 5.8 ポイント増加しています。「妻と夫が同じ程度に負担している」の割合は、女性では 8.8 ポイント減少、男性では 2.8 ポイント増加しています。

※性・職業別、性・配偶者の職業別、固定的性別役割分担別集計…P174・175

【久留米市（令和6年度調査）】



【久留米市（令和元年度調査）】



(ケ) 高額の商品や土地・家屋の購入を決める

「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合が 48.2%と最も高く、次いで「主に夫が行い、妻が一部を分担している」の割合が 21.2%となっています。

性別でみると、“夫中心”の割合は、女性が 37.8%、男性が 35.2%で、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、男性が 51.1%、女性が 46.1%となっています。

性・職業別でみると、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、正規雇用労働者（会社員・公務員など）では女性が 60.0%、男性が 48.8%、非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）では男性が 58.1%、女性が 45.7%であり、“夫中心”の割合は、正規雇用労働者（会社員・公務員など）では男性が 36.3%、女性が 22.3%、非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）では女性が 41.8%、男性が 25.9%となっています。

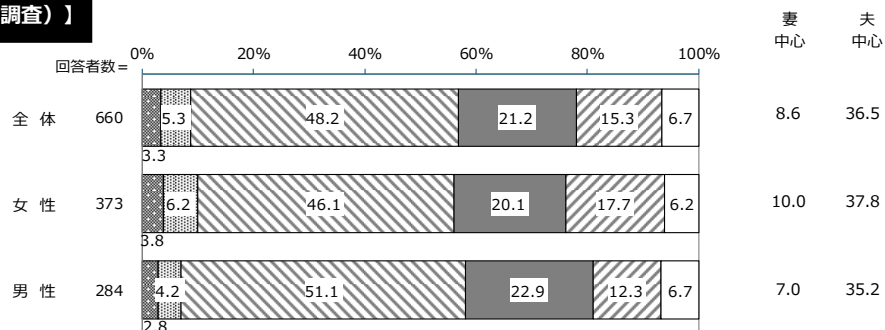
性・配偶者職業別でみると、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、配偶者が正規雇用労働者（会社員・公務員など）である男性が 57.3%、女性が 50.9%、配偶者が非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）である男性が 46.6%、女性が 35.7%であり、“夫中心”の割合は、配偶者が正規雇用労働者（会社員・公務員など）である女性が 34.4%、男性が 26.7%、配偶者が非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）である男性が 40.8%、女性が 39.3%となっています。

固定的性別役割分担意識別でみると、「妻と夫が同じ程度に分担している」の割合は、「同感しない」が 56.1%、「同感する」が 46.2%、「あまり同感しない」が 43.9%、「ある程度同感する」が 40.7%となっています。

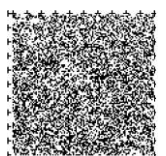
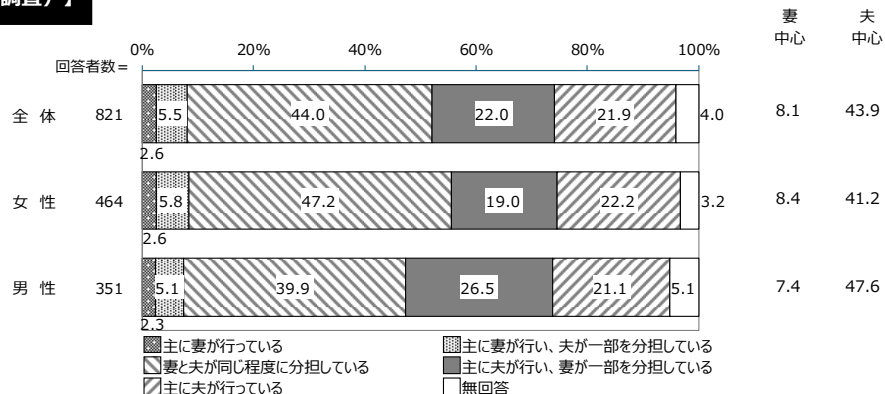
令和元年度調査と比較すると、“夫中心”の割合は、女性では 3.4 ポイント、男性では 12.4 ポイント減少しています。「妻と夫が同じ程度に負担している」の割合は、女性では 1.1 ポイント減少し、男性では 11.2 ポイント増加しています。

※性・職業別、性・配偶者の職業別、固定的性別役割分担別集計…P176・177

【久留米市（令和6年度調査）】



【久留米市（令和元年度調査）】



問 4 付問 1. 【配偶者・パートナーと同居している方におたずねします】

また、あなたが、今後、これまで以上にやりたいことは何ですか。あてはまるものすべてを選び○印をつけてください。

「生活費を得る」の割合が 41.8%と最も高く、次いで「炊事、掃除、洗濯などの家事をする」が 16.8%、「日々の家計を管理する」が 13.9%となっています。

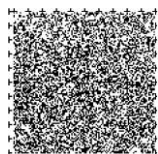
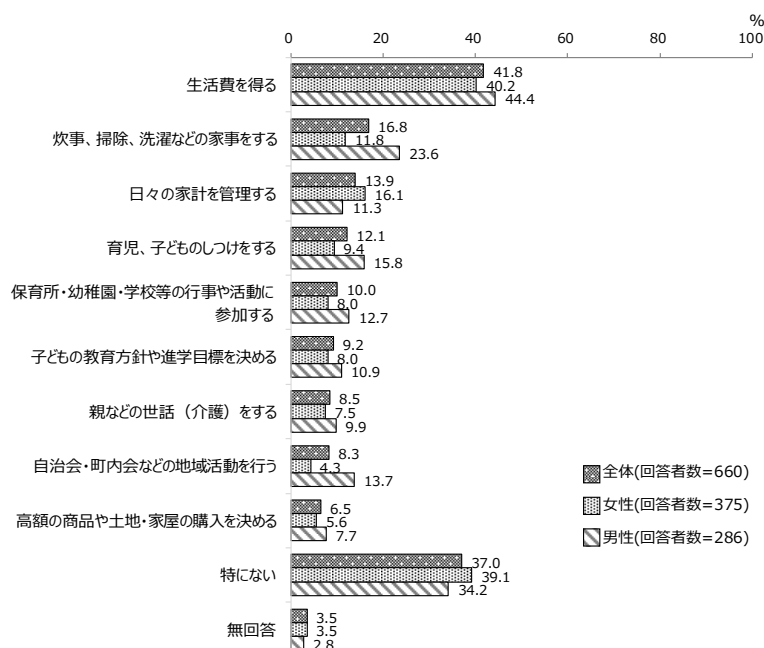
性別でみると、女性では「生活費を得る」の割合が 40.2%と最も高く、次いで、「日々の家計を管理する」の割合が 16.1%、「炊事、掃除、洗濯などの家事をする」11.8%となっています。男性では、「生活費を得る」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「炊事、掃除、洗濯などの家事をする」の割合が 23.6%、「育児、子どものしつけをする」の割合が 15.8%となっています。

性・年代別でみると、女性では、「生活費を得る」の割合は 10・20 歳代が 63.0%と最も高く、次いで、40 歳代が 56.2%、30 歳代が 47.9%となっています。「日々の家計を管理する」と「炊事、掃除、洗濯などの家事をする」の割合は、ともに 70 歳代が最も高く、次いで、30 歳代と続いています。男性では「生活費を得る」の割合は 40 歳代が 59.4%と最も高く、次いで、30 歳代が 58.5%、10・20 歳代が 50.0%となっています。「炊事、掃除、洗濯などの家事をする」と「育児、子どものしつけをする」の割合は、ともに 10・20 歳代が最も高く、次いで、30 歳代と続いています。

性・職業別でみると、「生活費を得る」の割合は、学生・高校生、無職の男女、主夫・主婦の男性を除くすべての職業で最も高く、正規雇用労働者（会社員・公務員など）では男性が 51.9%、女性が 41.1%、非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）では女性が 46.5%、男性が 41.9%となっています。また、主夫・主婦では女性が 35.7%となっています。

性・配偶者職業別でみると、「生活費を得る」の割合は、配偶者が正規雇用労働者（会社員・公務員など）、非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）、自営業（家族従事者含む）の男女、配偶者が農林漁業（家族従事者含む）の女性、配偶者が主夫・主婦、無職の男性で最も高く、配偶者が正規雇用労働者（会社員・公務員など）の女性が 49.6%、男性が 42.7%、配偶者が非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）の男性が 56.3%、女性が 39.3%となっています。

※性・年代別、性・職業別、性・配偶者の職業別集計…P178・179



問 5. あなたは、次にあげるような活動を平日に 1 日平均して何時間くらいしていますか。

(日曜・休日などは含めない)。

(ア) から (カ) のそれぞれについて、あてはまるものを 1 つずつ選び○印をつけてください。

(ア) 炊事、掃除、洗濯などの時間

炊事、掃除、洗濯などをしている人のうち、「1～2 時間未満」の割合が 21.8%と最も高く、次いで「2～4 時間未満」の割合が 20.4%となっています。

性別でみると、女性では「2～4 時間未満」の割合が 32.0%と最も高く、次いで「1～2 時間未満」の割合が 24.5%となっています。男性では「30 分未満」の割合が 26.4%と最も高く、次いで「30 分～1 時間未満」の割合が 23.6%となっています。

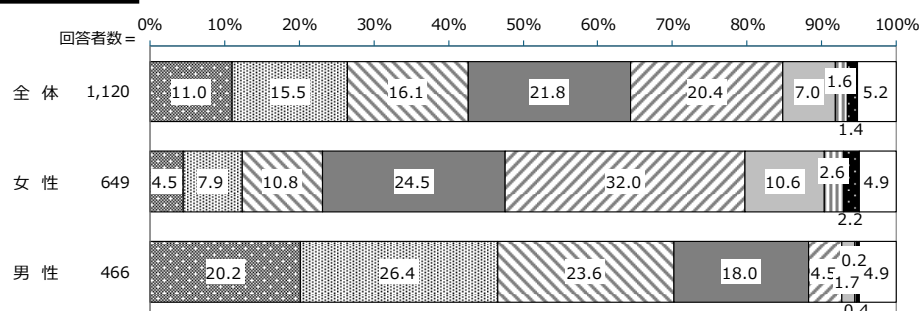
性・職業別でみると、正規雇用労働者（会社員・公務員など）は、女性は「1～2 時間未満」の割合が 33.3%、男性は「30 分未満」の割合が 28.6%と最も高く、非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）は、女性は「2～4 時間未満」の割合が 44.4%、男性は「30 分未満」の割合が 29.8%と最も高くなっています。

性・配偶者職業別でみると、配偶者が正規雇用労働者（会社員・公務員など）の女性は「2～4 時間未満」の割合が 44.9%、男性は「30 分～1 時間未満」の割合が 31.6%と最も高く、配偶者が非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）の女性は「2～4 時間未満」の割合が 39.3%、男性は「30 分未満」の割合が 29.1%と最も高くなっています。

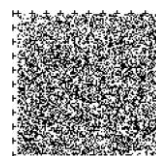
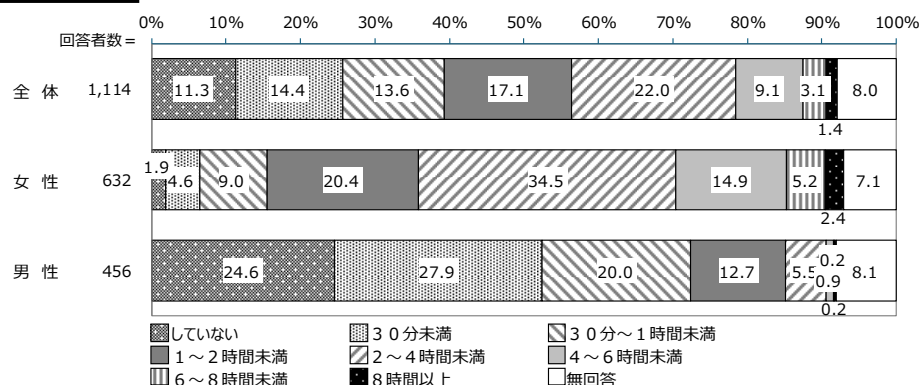
令和元年度調査と比較すると、女性では「30 分未満」から「1～2 時間未満」の割合が増加し、「2～4 時間未満」から「8 時間以上」の割合は減少しています。

※性・職業別、性・配偶者の職業別集計…P180・181

【久留米市（令和 6 年度調査）】



【久留米市（令和元年度調査）】



(イ) 育児などの時間

育児などをしている人のうち、「1～2時間未満」の割合が6.5%と最も高く、次いで「2～4時間未満」の割合が4.9%となっています。

性別でみると、しているなかでは、女性では「2～4時間未満」の割合が6.5%と最も高く、次いで「1～2時間未満」の割合が6.3%、「8時間以上」の割合が5.5%となっています。男性では「30分未満」の割合が6.9%と最も高く、次いで「1～2時間未満」の割合が6.9%、「30分～1時間未満」の割合が5.4%となっています。

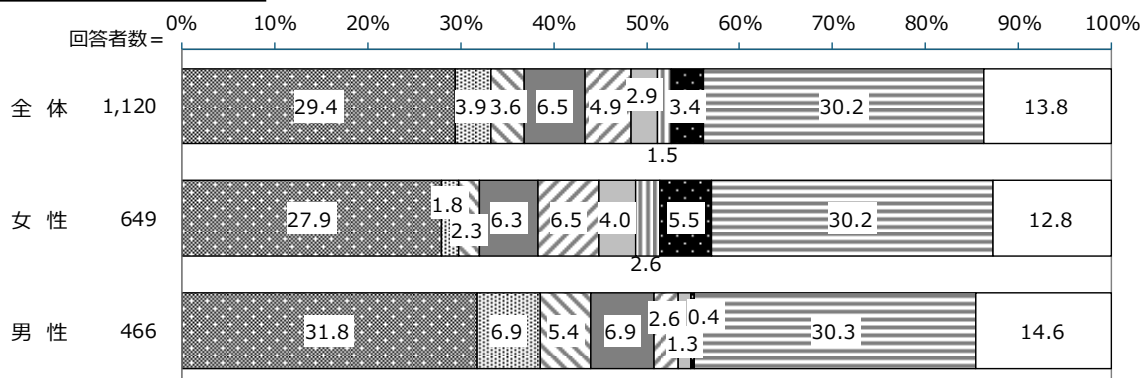
性・職業別でみると、正規雇用労働者（会社員・公務員など）は、女性は「2～4時間未満」の割合が9.0%、男性は「1～2時間未満」、「30分未満」の割合が12.1%と最も高く、非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）は、女性は「1～2時間未満」の割合が11.2%、男性は「30分～1時間未満」、「30分未満」、「8時間以上」の割合が1.8%と最も高くなっています。

性・配偶者職業別でみると、配偶者が正規雇用労働者（会社員・公務員など）の女性は「2～4時間未満」の割合が12.4%、男性は「1～2時間未満」の割合が19.7%と最も高く、配偶者が非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）の女性は「8時間以上」、「6～8時間未満」、「2～4時間未満」、「1～2時間未満」の割合が3.6%、男性は「30分未満」の割合が11.7%と最も高くなっています。

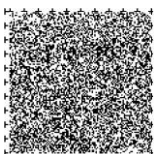
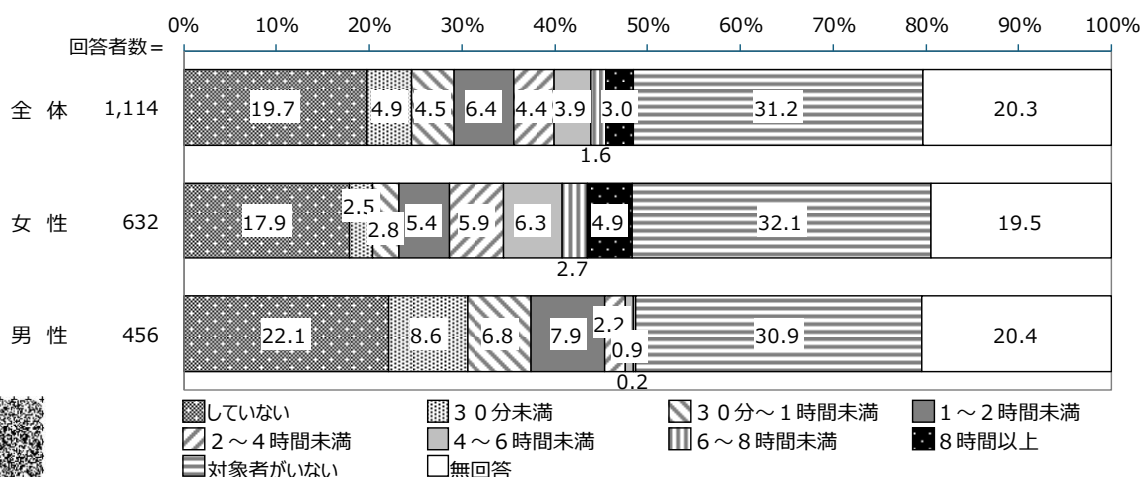
令和元年度調査と比較すると、女性では「4～6時間未満」の割合が2.3ポイント減少し、「1～2時間未満」が0.9ポイント増加しています。

※性・職業別、性・配偶者の職業別集計…P182・183

【久留米市（令和6年度調査）】



【久留米市（令和元年度調査）】



(ウ) 介護などの時間

介護などをしている人のうち、「30分未満」の割合が、2.9%と最も高く、次いで「30分～1時間未満」の割合が1.8%となっています。

性別でみると、しているなかでは、女性では「30分～1時間未満」の割合が2.8%と最も高く、次いで「30分未満」の割合が2.2%、「1～2時間未満」の割合が2.0%となっています。男性では「30分未満」の割合が3.9%と最も高く、次いで「1～2時間未満」と「8時間以上」の割合がともに1.1%となっています。

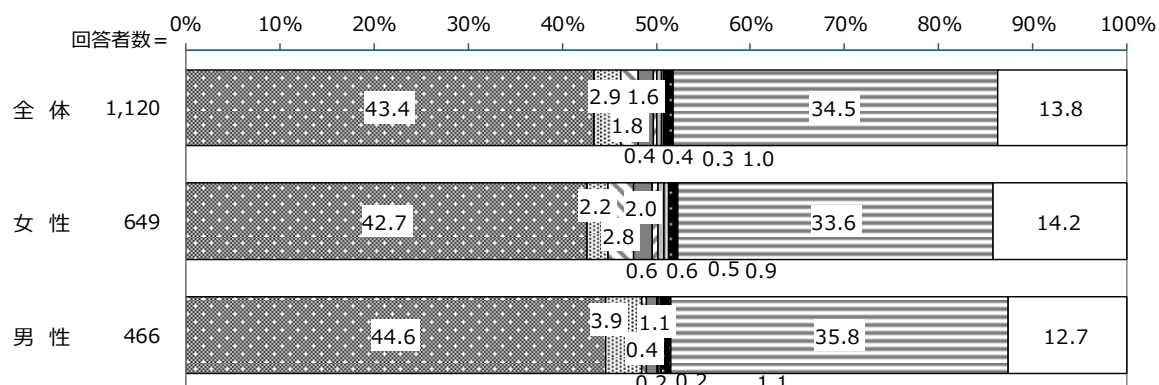
性・職業別でみると、正規雇用労働者（会社員・公務員など）は、女性は「30分～1時間未満」の割合が3.0%、男性は「30分未満」の割合が4.5%と最も高く、非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）は、女性は「30分～1時間未満」の割合が4.1%、男性は「30分未満」の割合が5.3%と最も高くなっています。

性・配偶者職業別でみると、配偶者が正規雇用労働者（会社員・公務員など）の女性は「30分～1時間未満」の割合が4.9%、男性は「1～2時間未満」の割合が2.6%と最も高く、配偶者が非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）の女性は「2～4時間未満」の割合が7.1%、男性は「30分未満」が10.7%と最も高くなっています。

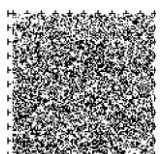
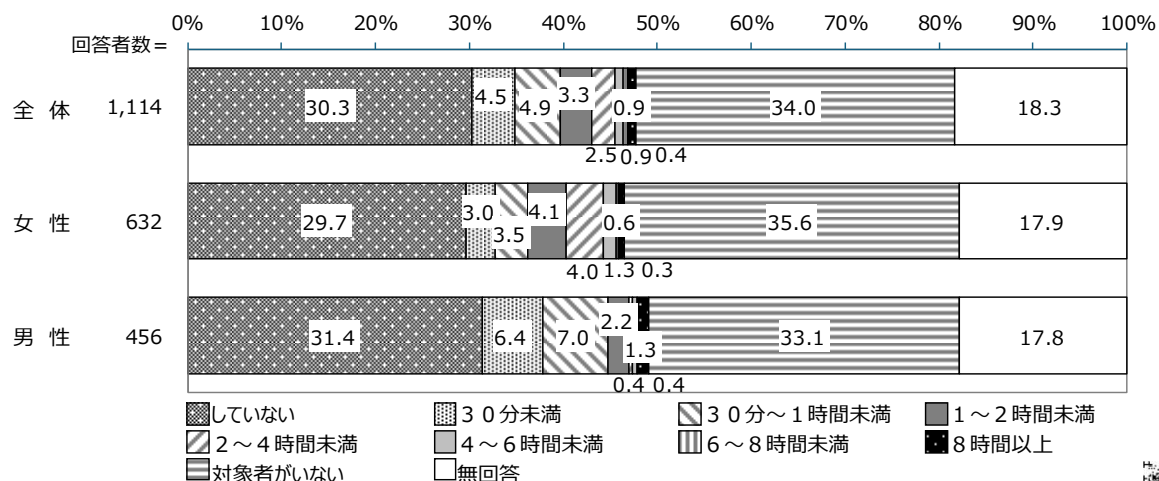
令和元年度調査と比較すると、男女ともに「30分未満」から「4～6時間未満」は、減少しています。

※性・職業別、性・配偶者の職業別集計…P184・185

【久留米市（令和6年度調査）】



【久留米市（令和元年度調査）】



(エ) 収入を得る仕事の時間（通勤時間を含む）

収入を得る仕事をしている人のうち、「8時間以上」の割合が41.4%と最も高く、次いで「6～8時間未満」の割合が13.6%となっています。

性別でみると、しているなかでは、「8時間以上」の割合は、男性が54.9%、女性が31.9%で、「6～8時間未満」の割合は、女性が15.3%、男性が11.2%となっています。

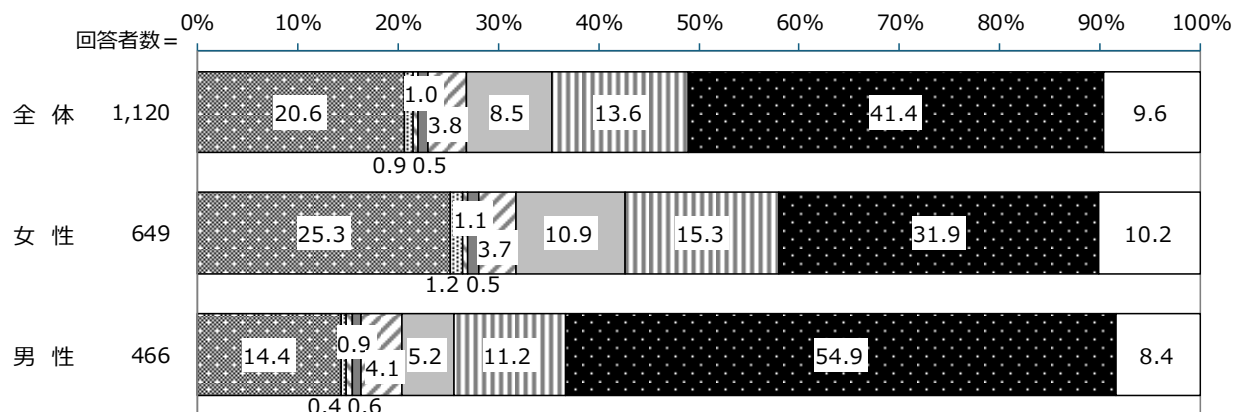
性・職業別でみると、正規雇用労働者（会社員・公務員など）は、「8時間以上」の割合が男女ともに最も高く、男性が85.7%、女性が72.1%となっています。非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）は、女性は「4～6時間未満」の割合が30.8%、男性は「8時間以上」の割合が36.8%と最も高くなっています。

性・配偶者職業別でみると、配偶者が正規雇用労働者（会社員・公務員など）は男女ともに「8時間以上」の割合が最も高く、男性が72.4%、女性が31.1%、また、配偶者が非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）の男性は72.8%と最も高くなっています。配偶者が非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）の女性は「6～8時間未満」の割合が25.0%と最も高くなっています。

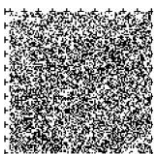
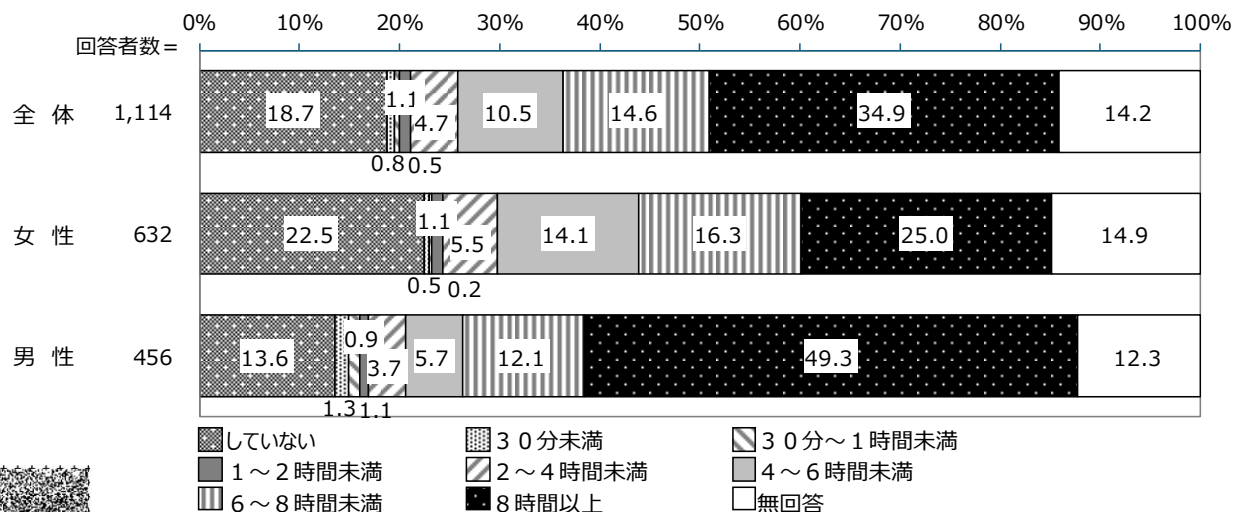
令和元年度調査と比較すると、男女ともに「8時間以上」の割合は増加しています。

※性・職業別、性・配偶者の職業別集計…P186・187

【久留米市（令和6年度調査）】



【久留米市（令和元年度調査）】



（オ）睡眠時間

睡眠時間については、「6～8時間未満」の割合が55.4%と最も高く、次いで「4～6時間未満」の割合が31.1%となっています。

性別でみると、「6～8時間未満」の割合は男性が56.9%、女性が54.5%で、「4～6時間未満」の割合は女性が33.0%、男性が28.5%となっています。

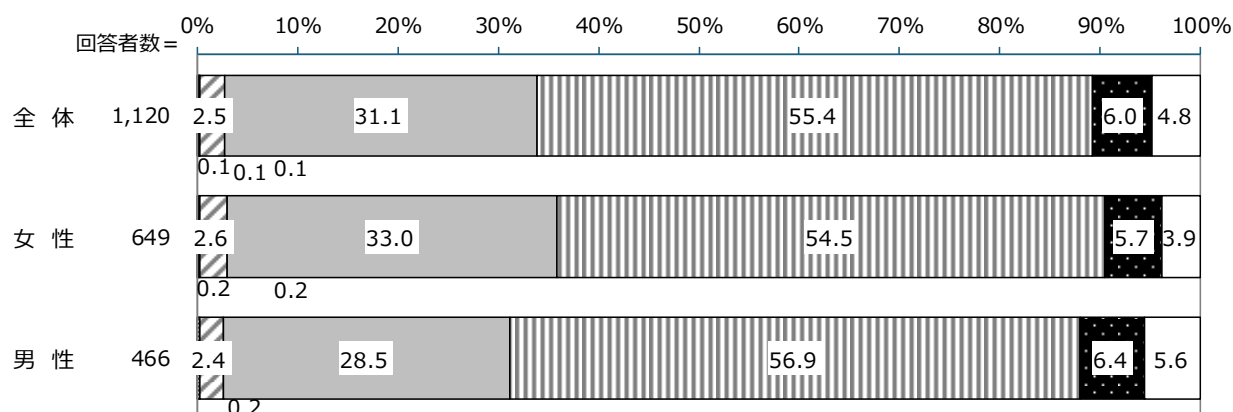
性・職業別でみると、正規雇用労働者（会社員・公務員など）、非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）の男女ともに「6～8時間未満」の割合が最も高くなっています。

性・配偶者職業別でみると、配偶者が正規雇用労働者（会社員・公務員など）は男女ともに「6～8時間未満」の割合が最も高く、女性が56.9%、男性が53.9%、また、配偶者が非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）の男性は68.0%と最も高くなっています。配偶者が非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）の女性は「4～6時間未満」の割合が46.4%と最も高くなっています。

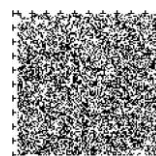
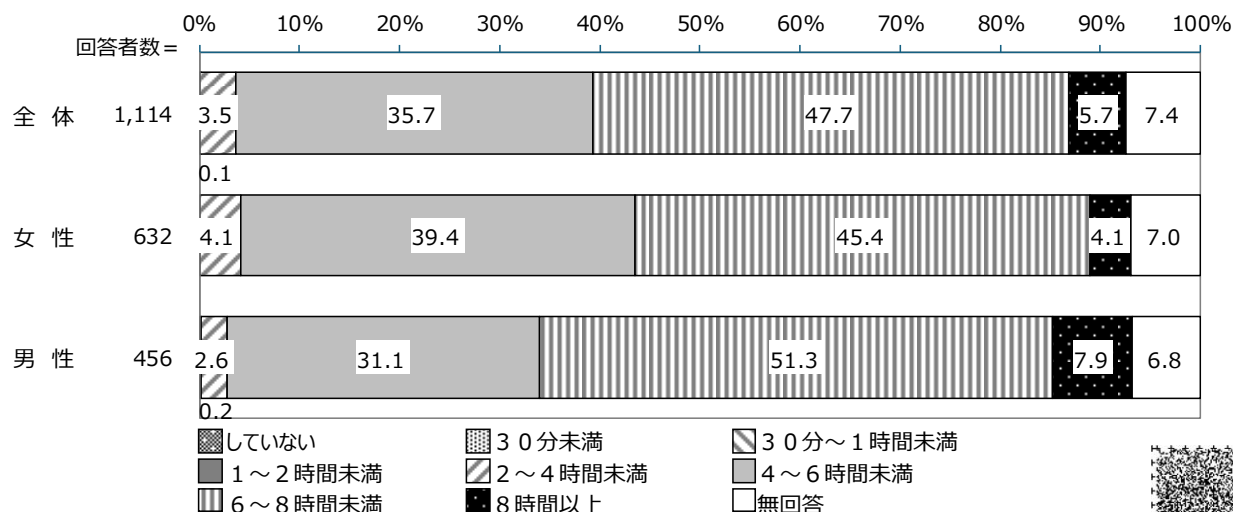
令和元年度調査と比較すると、男女ともに「6～8時間未満」の割合は増加し、「2～4時間未満」、「4～6時間未満」の割合は減少しています。

※性・職業別、性・配偶者の職業別集計…P188・189

【久留米市（令和6年度調査）】



【久留米市（令和元年度調査）】



（カ）自分が自由に使える時間（余暇・ボランティアなど）

自由に使える時間については、「2～4時間未満」の割合が26.8%と最も高く、次いで「1～2時間未満」の割合が20.9%となっています。

性別でみると、「2～4時間未満」の割合は、女性が27.7%、男性が25.3%で、「1～2時間未満」の割合は、男性が21.2%、女性が20.8%となっています。

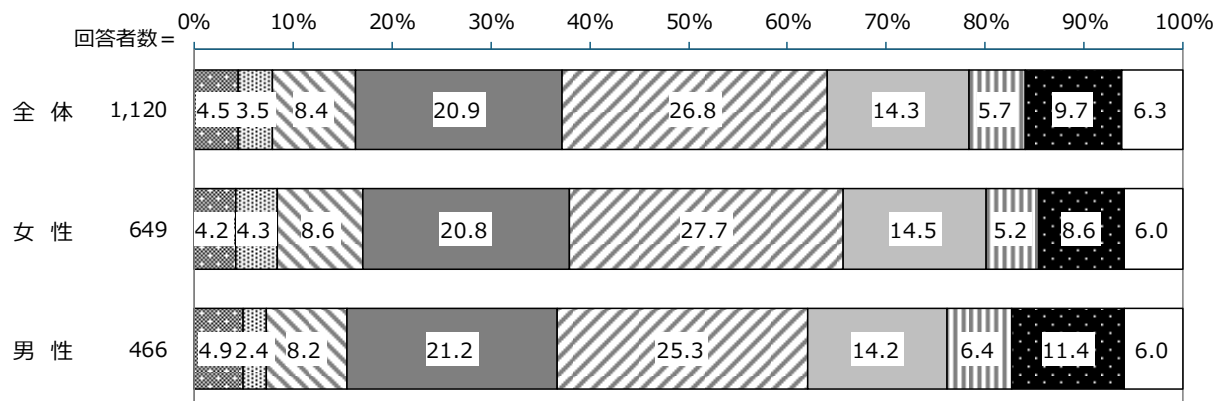
性・職業別でみると、正規雇用労働者（会社員・公務員など）は、女性は「2～4時間未満」の割合が、28.9%、男性は「1～2時間未満」の割合が31.7%と最も高くなっています。非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）は男女ともに「2～4時間未満」が最も高く、男性が33.3%、女性が28.4%となっています。

性・配偶者職業別でみると、配偶者が正規雇用労働者（会社員・公務員など）の女性は「2～4時間未満」の割合が26.7%、男性は「1～2時間未満」が31.6%と最も高く、配偶者が非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）の女性は「2～4時間未満」の割合が32.1%、男性は「1～2時間未満」の割合が28.2%と最も高くなっています。

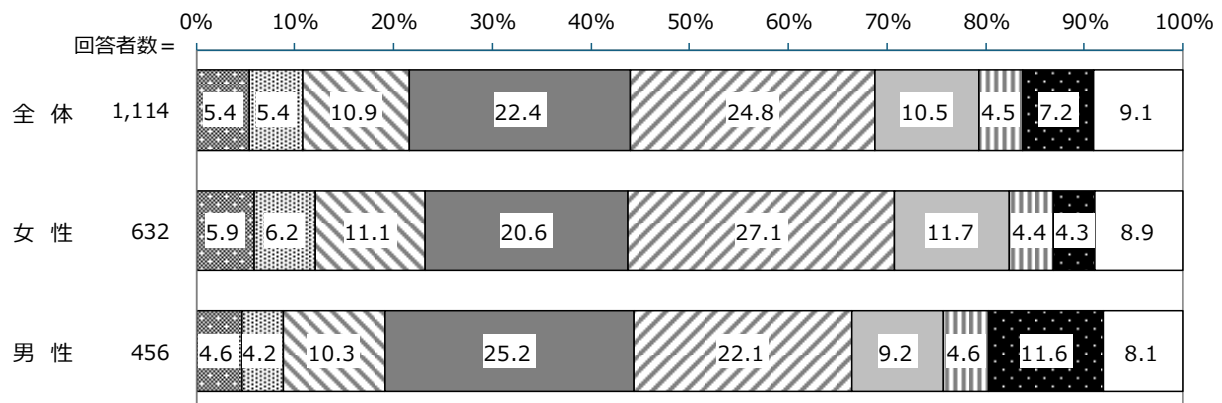
令和元年度調査と比較すると、男性では「4～6時間未満」の割合は5.0ポイント、「2～4時間未満」の割合は3.2ポイント増加し、「30分未満」から「1～2時間未満」の割合が減少しています。

※性・職業別、性・配偶者の職業別集計…P190・191

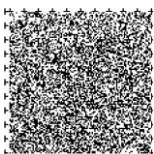
【久留米市（令和6年度調査）】



【久留米市（令和元年度調査）】



■ していない
 ■ 1～2時間未満
 ■ 2～4時間未満
 ■ 6～8時間未満
 ■ 30分未満
 ■ 30分～1時間未満
 ■ 4～6時間未満
 ■ 8時間以上
 □ 無回答



問 6. あなたは男性が育児休業等を取得しない（できない）理由は何だと思いますか。

あなたのお考えに近いものを2つまで選び番号に○印をつけてください。

「職場に取りやすい雰囲気がないから」の割合が 55.0%と最も高く、次いで「取ると仕事上周囲の人に迷惑がかかるから」の割合が 44.4%、「仕事が忙しいから」の割合が 23.8%、「経済的に困るから」の割合が 22.7%となっています。

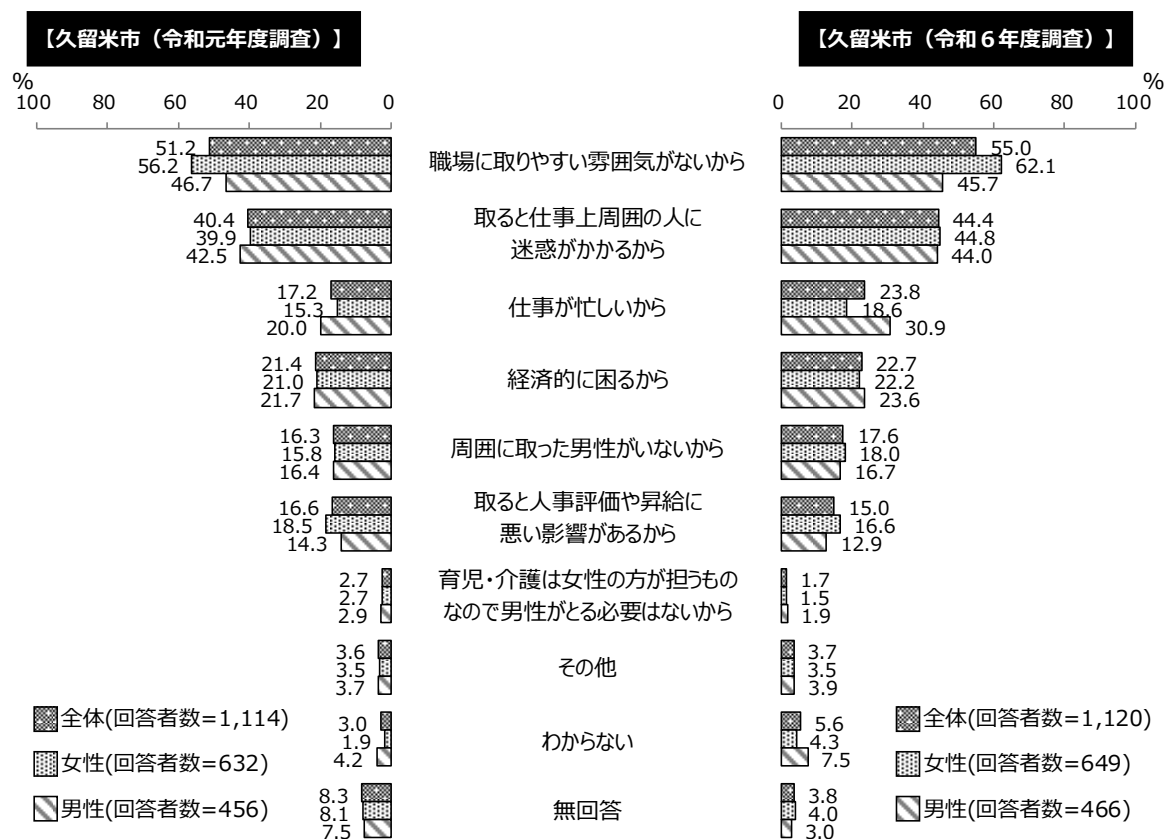
性別でみると、「職場に取りやすい雰囲気がないから」の割合は、女性が 62.1%、男性が 45.7%で、女性が男性より 16.4 ポイント高くなっています。また、「仕事が忙しいから」の割合は、男性が 30.9%、女性が 18.6%で、男性が女性より 12.3 ポイント高くなっています。

性・年代別でみると、男性では、「職場に取りやすい雰囲気がないから」の割合は、70 歳代を除くすべての年代で 4 割を超えており、30 歳代が 55.9%と最も高く、次いで、60 歳代が 51.5%となっています。「仕事が忙しいから」の割合は、男性の 40 歳代が 40.2%と最も高く、次いで 30 歳代が 37.3%、50 歳代が 36.0%となっています。

職業別でみると、「職場に取りやすい雰囲気がないから」の割合は、すべての職業で 5 割を超えており、「主夫・主婦」が 60.9%と最も高くなっています。「職場に取りやすい雰囲気がないから」の割合は、「会社役員」が 52.0%と最も高く、次いで「主夫・主婦」が 50.0%、「非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）」が 49.6%となっています。「仕事が忙しいから」の割合は、「会社役員」が 40.0%と最も高く、次いで「正規雇用労働者（会社員・公務員など）」が 30.0%となっています。「経済的に困るから」の割合は、「農林漁業（家族従事者含む）」が 34.6%と最も高く、次いで「会社役員」が 32.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、男性では「仕事が忙しいから」の割合が、10.9 ポイント増加しています。

※性別、性・年代別、職業別集計…P192



問 7. 男女がともに働き、介護と仕事を両立させていく環境を作るためにどのようなことが必要であると思いますか。あなたのお考えに近いものを2つまで選び番号に○印をつけてください。

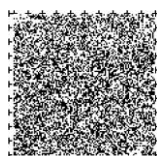
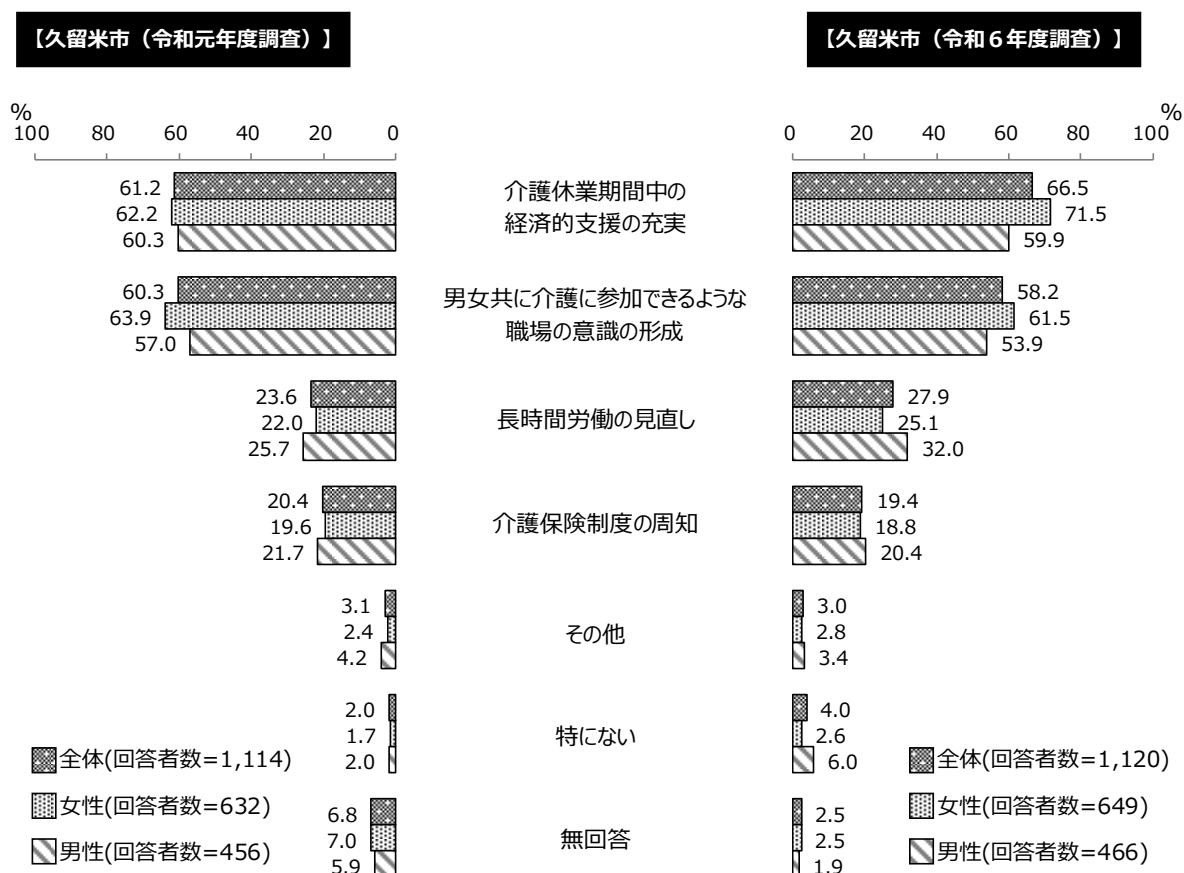
「介護休業期間中の経済的支援の充実」の割合が 66.5%で最も高く、次いで「男女共に介護に参加できるような職場の意識の形成」の割合が 58.2%となっています。

性別でみると、「介護休業期間中の経済的支援の充実」の割合は、女性が 71.5%、男性が 59.9%で、女性が男性より 11.6%高く、「男女共に介護に参加できるような職場の意識の形成」の割合は、女性が 61.5%、男性が 53.9%で、女性が男性より 7.6 ポイント高くなっています。また、「長時間労働の見直し」の割合は、男性が 32.0%、女性が 25.1%で男性が女性より 6.9 ポイント高く、「介護保険制度の周知」の割合は、男性が 20.4%、女性が 18.8%で、男性が女性より 1.6 ポイント高くなっています。

年代別でみると、「男女共に介護に参加できるような職場の意識の形成」の割合は、75 歳以上を除くすべての年代で 5 割を超えており、65～69 歳は 75.7%と最も高くなっています。「介護休業期間中の経済的支援の充実」の割合は、20 歳代から 74 歳までの年代で 6 割を超えており、40 歳代は 72.4%と最も高くなっています。「長時間労働の見直し」の割合は 15 歳から 40 歳代までの年代で 3 割を超え、30 歳代は 39.6%と最も高くなっています。

令和元年度調査と比較すると、女性では「介護休業期間中の経済的支援の充実」の割合が 9.3 ポイント、「長時間労働の見直し」の割合が 3.1 ポイント増加しています。男性では「長時間労働の見直し」の割合が 6.3 ポイント増加、「男女共に介護に参加できるような職場の意識の形成」の割合が 3.1 ポイント減少しています。

※年代別集計…P193



問 8.【現在、職種や勤務形態に関わらず、職業に就いている方におたずねします】

次にあげることがらの中で、現在のあなたの職場の女性にあてはまることがありますか。

あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

「特にない」の割合が 53.2%と最も高く、次いで、「女性の昇進・昇格が遅い、または望めない」の割合が 15.6%、「女性のみ、もしくは男性のみしか配置しない部署がある」の割合が 9.9%、「女性にはつけないポスト・職種がある」の割合が 9.0%となっています。

性別でみると、「女性の昇進・昇格が遅い、または望めない」の割合は男女ともに最も高く、女性は 16.9%、男性は 14.1%となっています。また、男性では「女性のみ、もしくは男性のみしか配置しない部署がある」、「女性にはつけないポスト・職種がある」、「採用人数などで差があり、女性は男性より採用されづらくなっている」、「女性の仕事を補助的業務に限っている」の割合が順に高く、1 割前半となっています。

年代別でみると、「女性の昇進・昇格が遅い、または望めない」の割合は 40 歳代が 19.3%、30 歳代が 19.1%と、ともに約 2 割となっています。「同期に同年齢で入社した男性との賃金・給料の差がある」の割合は、40 歳代から 69 歳までの年代で約 1 割となっています。また、「女性にはつけないポスト・職種がある」の割合は 30 歳代から 50 歳代の年代で 1 割前後となっています。

職業別でみると、「女性の昇進・昇格が遅い、または望めない」の割合は、「正規雇用労働者（会社員・公務員など）」、「非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）」、「会社役員」で 1 割半ばかりから約 2 割となっています。「同期に同年齢で入社した男性との賃金・給料の差がある」の割合は「正規雇用労働者（会社員・公務員など）」が 9.8%と最も高く、次いで「非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）」が 8.8%となっています。また、「女性の仕事を補助的業務に限っている」、「女性にはつけないポスト・職種がある」など多数の項目で、「会社役員」の割合が最も高くなっています。

令和元年度調査と比較すると、全体では「特にない」の割合が増加しており、その他の項目はすべて減少しています。

※年代別、職業別集計…P194



問 9. ふだんの生活の中での「仕事」と「家庭生活・プライベート」の優先度についておたずねします。

(A) 希望と (B) 現実のそれぞれについて、あなたのお考えに近いものを 1 つずつ選び番号に

○印をつけてください。※現在、職業についていない方は、「(A) 希望」のみ、お答えください。

(A) 希望

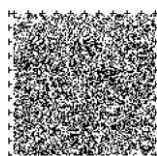
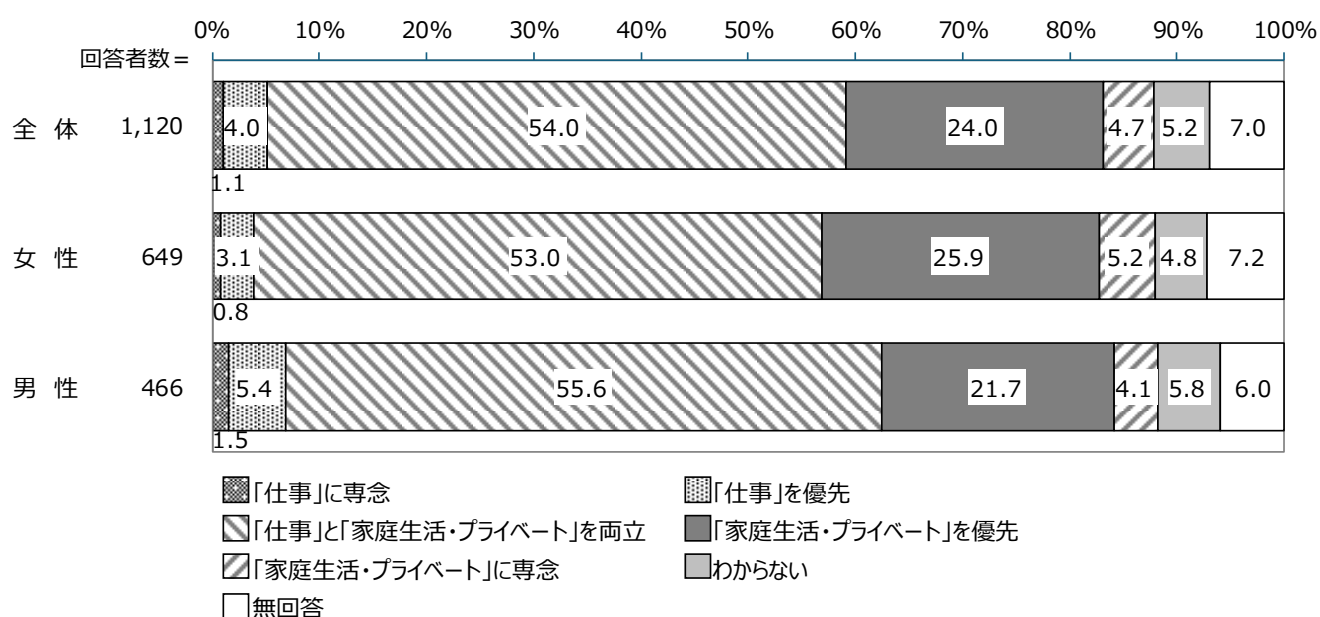
「仕事」と「家庭生活・プライベート」を両立」の割合が 54.0%で最も高く、次いで「家庭生活・プライベート」を優先」が 24.0%となっています。

性別でみると、女性では、「仕事」と「家庭生活・プライベート」を両立」の割合は 53.0%、「家庭生活・プライベート」を優先」の割合は 25.9%、「仕事」を優先」の割合は 3.1%となっています。男性では、「仕事」と「家庭生活・プライベート」を両立」の割合は 55.6%、「家庭生活・プライベート」を優先」の割合は 21.7%、「仕事」を優先」の割合は 5.4%となっています。

性・年代別でみると、女性の 40 歳代では、「仕事」と「家庭生活・プライベート」を両立」の割合は 55.7%、「家庭生活・プライベート」を優先」の割合は 28.3%、「仕事」を優先」の割合は 2.8%となっています。男性の 40 歳代では、「仕事」と「家庭生活・プライベート」を両立」の割合は 63.0%、「家庭生活・プライベート」を優先」の割合は 16.3%、「仕事」を優先」の割合は 6.5%となっています。

性・職業別でみると、すべての職業において、男女ともに「仕事」と「家庭生活・プライベート」を両立」の割合が高くなっています。正規雇用労働者（会社員・公務員など）では、女性が 64.7%、男性が 58.9%となり、非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）では、男性が 57.9%、女性が 54.4%となっています。また、主夫・主婦では女性が 33.0%となっています。

※性・年代別、性・職業別集計…P195



(B) 現実

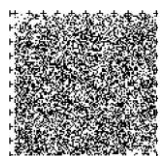
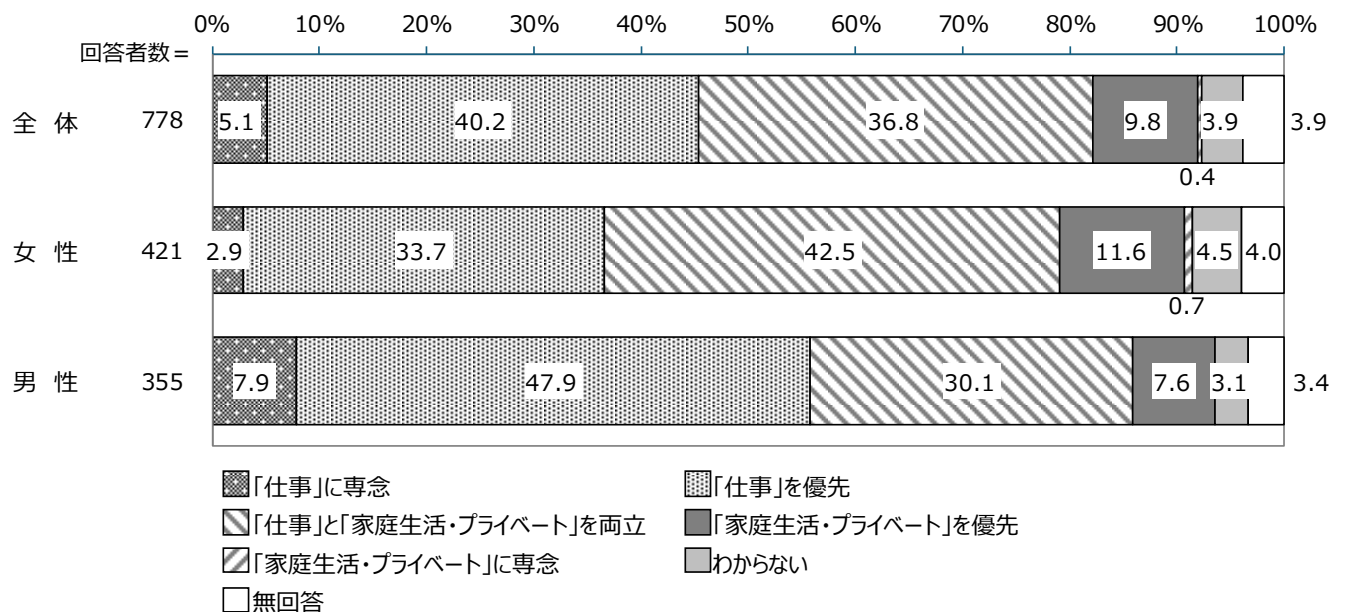
「仕事」を優先」の割合が 40.2%で最も高く、次いで「仕事」と「家庭生活・プライベート」を両立」の割合が 36.8%となっています。

性別でみると、女性では、「仕事」と「家庭生活・プライベート」を両立」の割合は 42.5%、「仕事」を優先」の割合は 33.7%、「家庭生活・プライベート」を優先」の割合は 11.6%となっています。男性では、「仕事」を優先」の割合は 47.9%、「仕事」と「家庭生活・プライベート」を両立」の割合は 30.1%、「家庭生活・プライベート」を優先」の割合は 7.6%となっています。

性・年代別でみると、女性の 40 歳代では、「仕事」を優先」の割合は 38.6%、「仕事」と「家庭生活・プライベート」を両立」の割合は 35.2%、「家庭生活・プライベート」を優先」の割合は 14.8%となっています。男性の 40 歳代では、「仕事」を優先」の割合は 62.1%、「仕事」と「家庭生活・プライベート」を両立」の割合は 23.0%、「家庭生活・プライベート」を優先」の割合は 4.6%となっています。

性・職業別でみると、正規雇用労働者（会社員・公務員など）では、「仕事」を優先」の割合は男性が 55.8%、女性が 45.3%と最も高く、非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）では、「仕事」と「家庭生活・プライベート」を両立」の割合は女性が 47.3%、男性が 36.8%と最も高くなっています。

※性・年代別、職業別集計…P196



問 10. 【現在、職種や勤務形態に関わらず、職業に就いている方におたずねします】

あなたは、ワーク・ライフ・バランスを実現できていますか。

あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

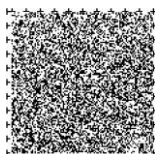
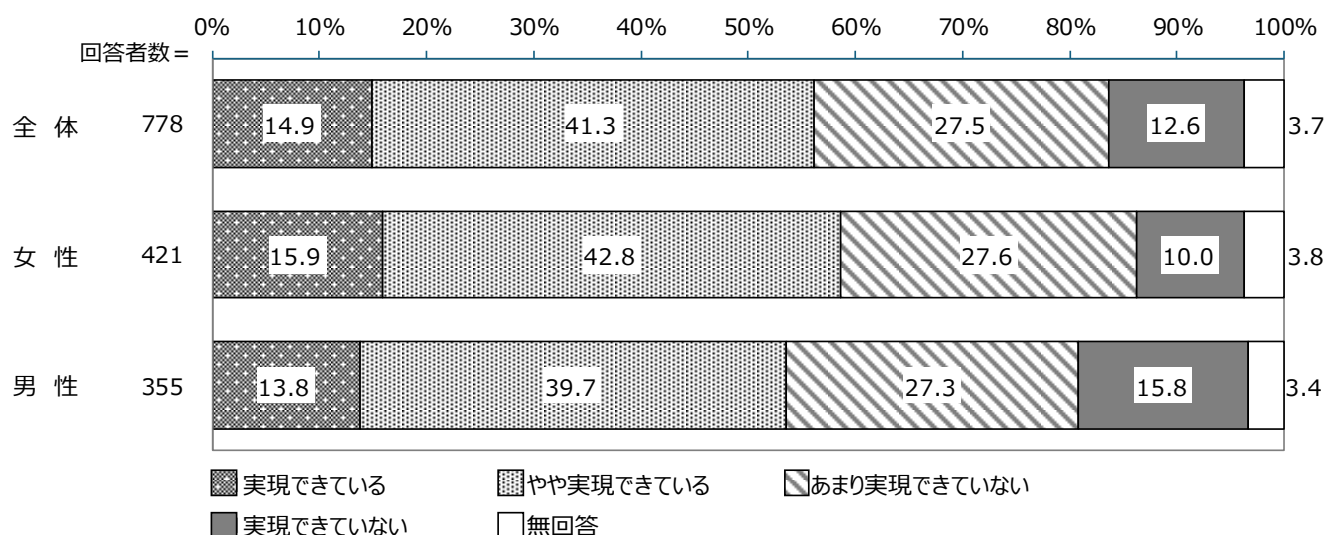
「やや実現できている」の割合が41.3%と最も高く、次いで「あまり実現できていない」の割合が27.5%となっています。

性別でみると、「やや現実できている」の割合は、女性が42.8%、男性が39.7%で、女性が男性より3.1ポイント高く、「実現できている」の割合は、女性が15.9%、男性が13.8%で女性が男性より2.1ポイント高くなっています。また、「あまり実現できていない」の割合は男女とも約27.0%と大差なく、「実現できていない」の割合は、男性が15.8%、女性が10.0%で、男性が女性より5.8ポイント高くなっています。

性・年代別でみると、「あまり実現できていない」の割合は、女性では40歳代が37.5%と最も高く、男性では30歳代が33.3%と最も高くなっています。また、「実現できていない」の割合は、女性では50歳代が15.8%と最も高く、男性では50歳代が21.9%と最も高くなっています。

職業別でみると、「会社役員」は、「実現できている」の割合が24.0%と最も高い一方で、「やや実現できている」の割合は28.0%と最も低く、「あまり実現できていない」割合は32.0%で最も高くなっています。「正規雇用労働者（会社員・公務員など）」、「正規雇用労働者（会社員・公務員など）」、「自営業（家族従事者含む）」は、「実現できている」の割合は約1割から1割半ばにとどまっているものの、「やや実現できている」の割合は4割台となっています。

※性・年代別、職業別集計…P197



問 11. ワーク・ライフ・バランスの実現には何が必要だと思いますか。

あなたのお考えに近いものから3つまで選び番号に○印をつけてください。

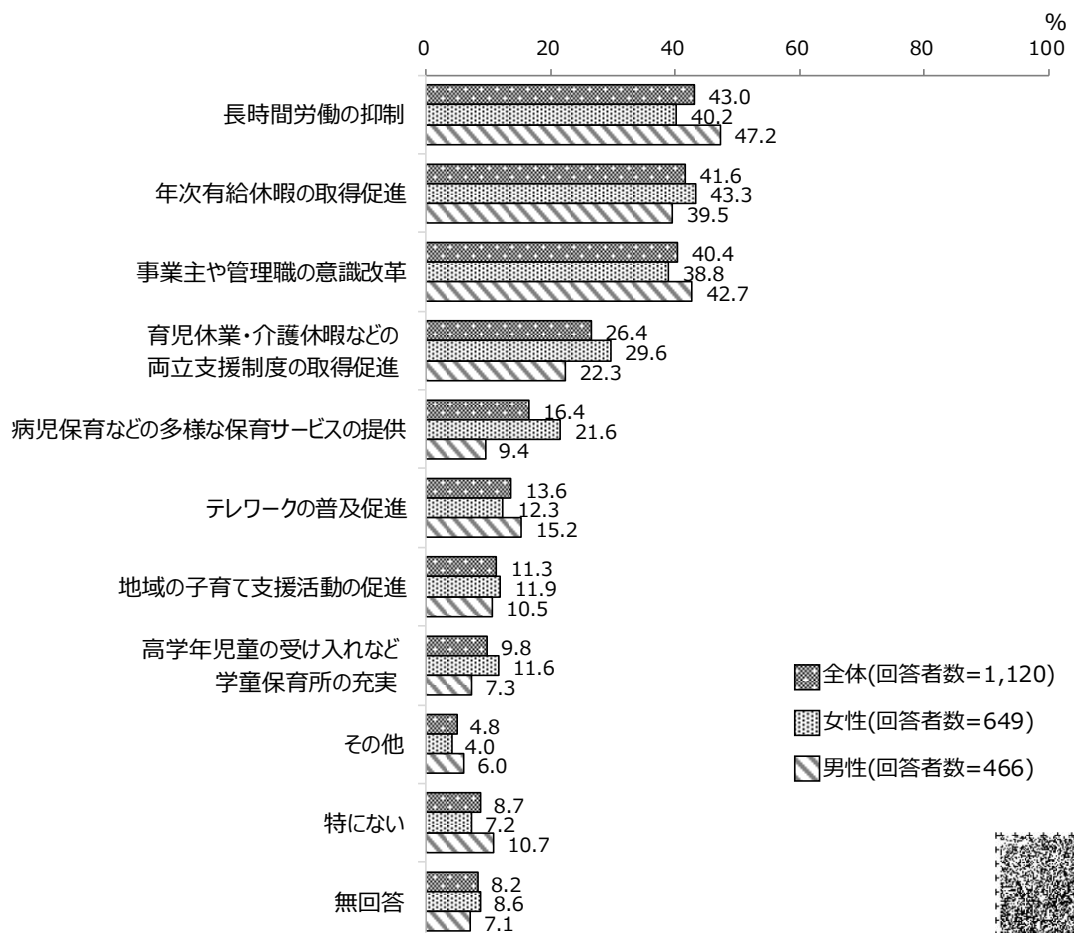
「長時間労働の抑制」の割合が43.0%と最も高く、次いで「年次有給休暇の取得促進」の割合が41.6%、「事業主や管理職の意識改革」の割合が40.4%となっています。

性別でみると、「長時間労働の抑制」の割合は、男性が47.2%、女性が40.2%で、男性が女性より7.0ポイント高く、「育児休業・介護休暇などの両立支援制度の取得促進」の割合は、女性が29.6%、男性が22.3%で、女性が男性より7.3ポイント高くなっています。また、「事業主や管理職の意識改革」の割合は、男性が42.7%、女性が38.8%で、男性が女性より3.9ポイント高く、「年次有給休暇の取得促進」の割合は、女性が43.3%、男性が39.5%で、女性が男性より3.8ポイント高くなっています。

性・年齢別にみると、女性の10～30歳代と男性の10歳代から40歳代では「長時間労働の抑制」の割合が最も高く、女性の40～60歳代と男性の50歳代では「年次有給休暇の取得促進」の割合が最も高くなっています。

職業別にみると、「長時間労働の抑制」の割合は、「会社役員」が56.0%と最も高く、次いで「正規雇用労働者（会社員・公務員など）」が52.2%となっています。「年次有給休暇の取得促進」の割合は、「正規雇用労働者（会社員・公務員など）」が51.3%と最も高く、次いで「非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）」が43.4%、「会社役員」が40.0%となっています。「事業主や管理職の意識改革」の割合は、「正規雇用労働者（会社員・公務員など）」が47.3%と最も高く、次いで「非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）」が41.2%となっています。

※性・年代別、職業別集計…P198



問 12. 【現在、職業に就いていない方（主婦・主夫または無職の方）におたずねします】

現在、職業についていない理由は何ですか。

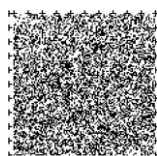
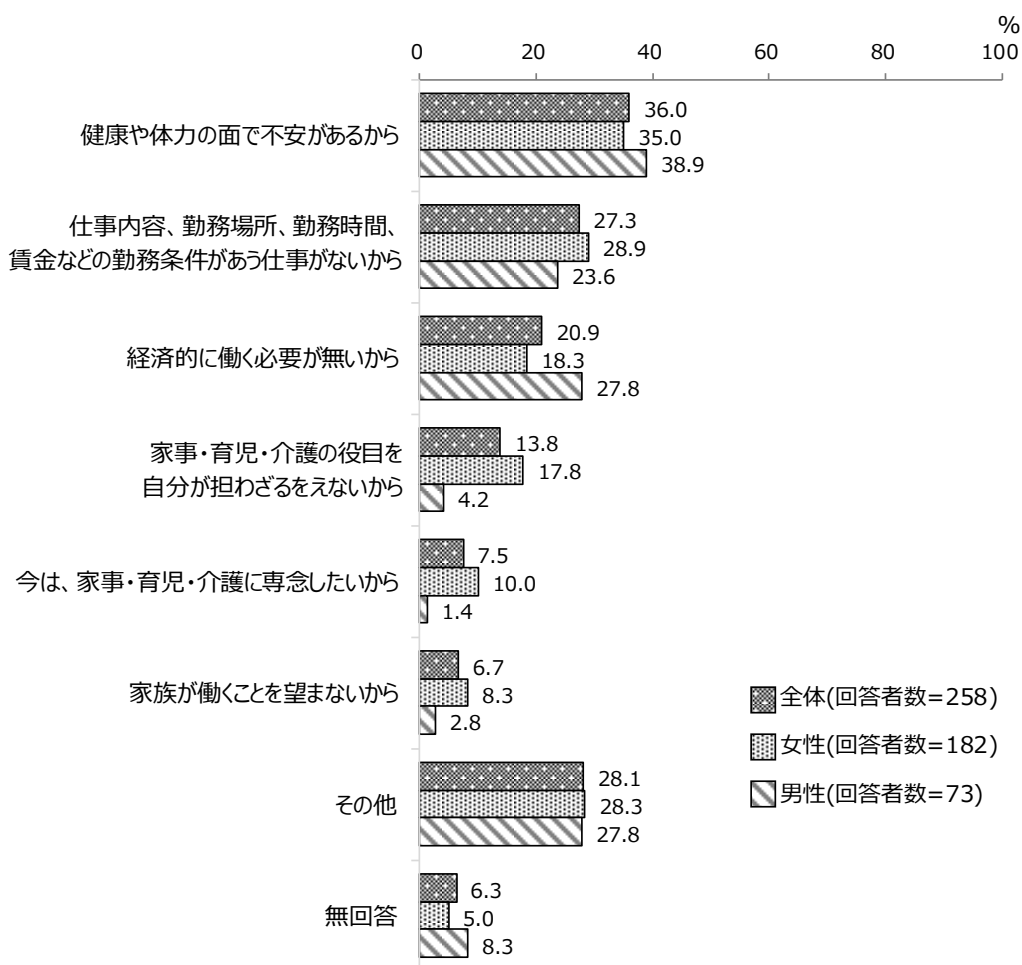
あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

「健康や体力の面で不安があるから」の割合が 36.0%で最も高く、次いで「仕事内容、勤務場所、勤務時間、賃金などの勤務条件があう仕事がないから」の割合が 27.3%、「経済的に働く必要が無いから」の割合が 20.9%となっています。

性別でみると、「健康や体力の面で不安があるから」の割合は、男性が 38.9%、女性が 35.0%で、男性が女性より 3.9 ポイント高く、「仕事内容、勤務場所、勤務時間、賃金などの勤務条件があう仕事がないから」の割合は、女性が 28.9%、男性が 23.6%で、女性が男性より 5.3 ポイント高くなっています。また、「経済的に働く必要が無いから」の割合は、男性が 27.8%、女性が 18.3%で、男性が女性より 9.5 ポイント高く、「家事・育児・介護の役目を自分が担わざるをえないから」の割合は、女性が 17.8%、男性が 4.2%で、女性が男性より 13.6 ポイント高くなっています。

性・年代別でみると、すべての年代において女性が男性より回答者数が多く、女性の 30 歳代では「家事・育児・介護の役目を自分が担わざるをえないから」の割合が 8 割となっています。

※性・年代別集計…P199



問 12 付問 1.【現在、職業に就いていない方（主婦・主夫または無職の方）におたずねします】

あなたは今後、職業に就きたいと思いますか。

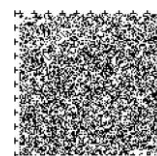
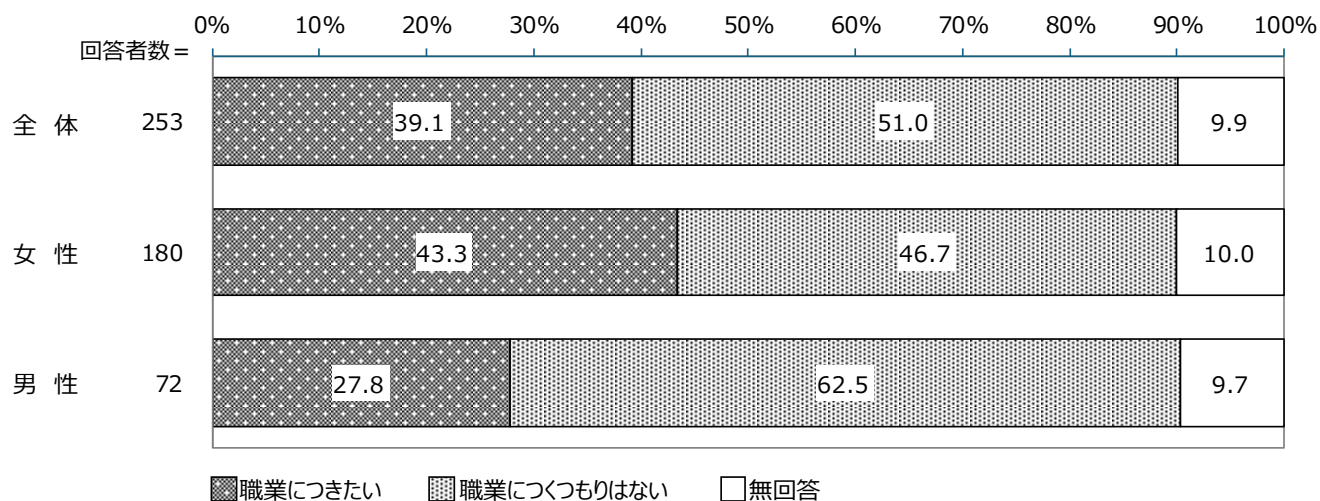
あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

「職業につくつもりはない」の割合が 51.0%、「職業につきたい」の割合が 39.1%となっています。

性別でみると、「職業につきたい」の割合は、女性は 43.3%、男性は 27.8%となっています。また、「職業につくつもりはない」の割合は、男性は 62.5%、女性は 46.7%となっています。

性・年代別でみると、「職業につきたい」の割合は、女性では 10・20 歳代が 88.2%と最も高く、50 歳代が 78.3%、30 歳代が 73.3%、40 歳代が 72.2%と続いています。

※性・年代別集計…P200



問 13.【非正規雇用の方におたずねします】

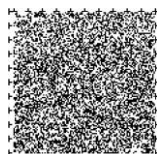
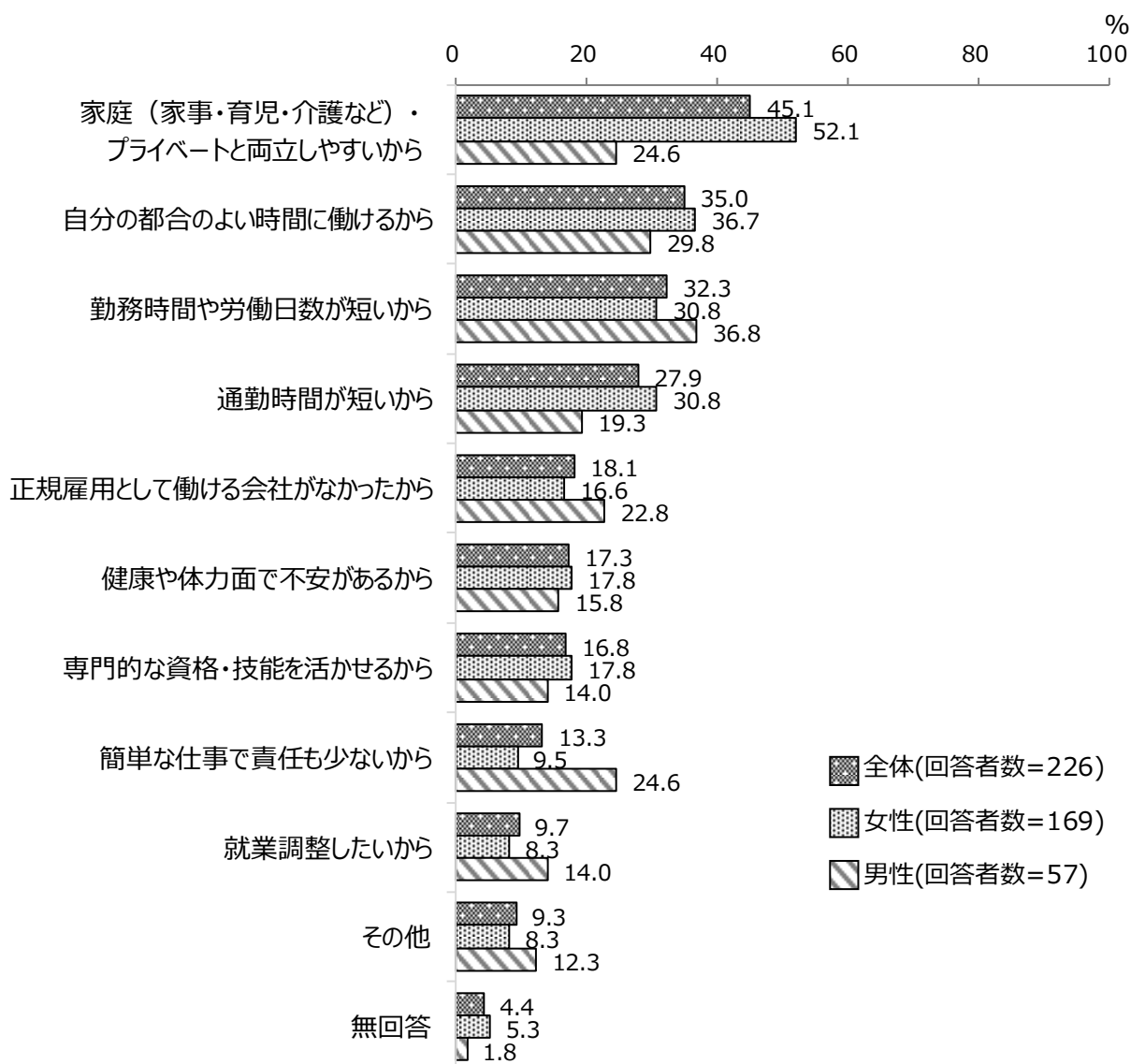
現在の就業形態を選んだ理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

「家庭（家事・育児・介護など）・プライベートと両立しやすいから」の割合が45.1%と最も高く、次いで「自分の都合のよい時間に働けるから」の割合が35.0%、「勤務時間や労働日数が短いから」の割合が32.3%となっています。

性別でみると、「家庭（家事・育児・介護など）・プライベートと両立しやすいから」の割合は、女性が52.1%、男性が24.6%、「自分の都合のよい時間に働けるから」の割合は、女性が36.7%、男性が29.8%となっています。また、「勤務時間や労働日数が短いから」の割合は、男性が36.8%、女性が30.8%となっています。

性・年代別にみると、「家庭（家事・育児・介護など）・プライベートと両立しやすいから」の割合は男女ともに30歳代が最も高くなっています。

※性・年代別集計…P201



問 13 付問 1.【非正規雇用の方におたずねします】

あなたは今後、正規雇用の職に就きたいと思いますか。

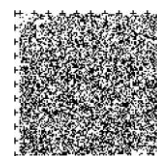
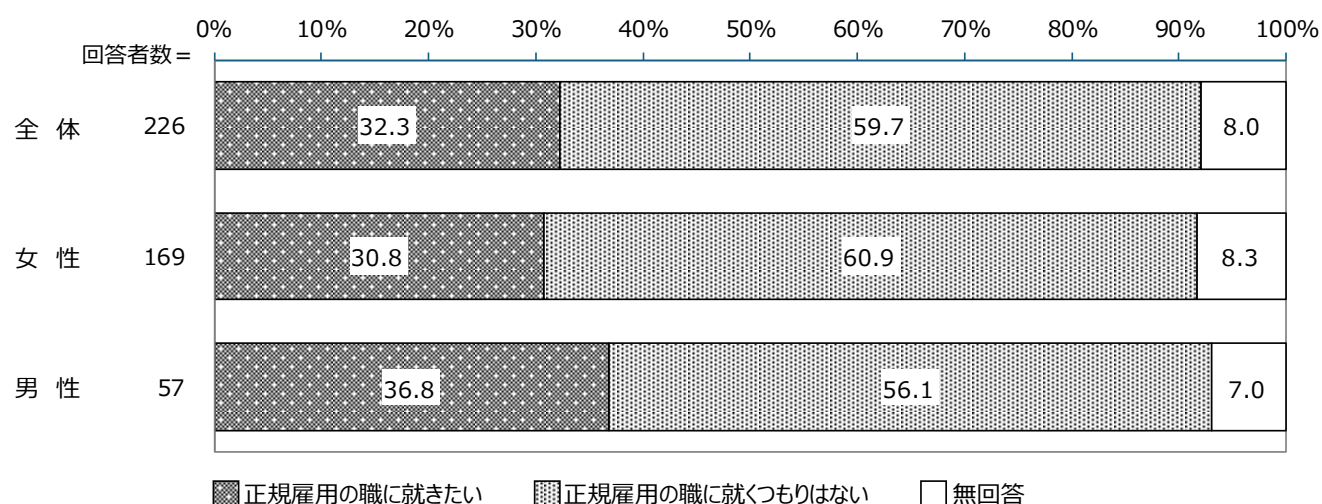
あてはまるものを 1 つ選び番号に○印をつけてください。

「正規雇用の職に就くつもりはない」の割合は 59.7%、「正規雇用の職に就きたい」の割合は 32.3%となっています。
性別でみると、「正規雇用の職に就くつもりはない」の割合は、女性が 60.9%、男性が 56.1%と女性が男性より 4.8 ポイント高く、「正規雇用の職に就きたい」の割合は、男性が 36.8%、女性が 30.8%で、男性が女性より 6.0 ポイント高くなっています。

性・年代別にみると、男女ともに 10 歳代から 40 歳代で「正規雇用の職に就きたい」の割合が高い傾向にあります。

子の年代別でみると、「正規雇用の職に就きたい」の割合は、「3 歳未満の乳幼児」が 6.0%と最も高く、次いで「中学生」が 50.0%となっています。「3 歳以上の未就学児」から「小学校 4 ～ 6 年生」では 4 割台となっています。

※性・年代別、子の年代別集計…P202



問 14. 女性が職業をもち、働き続けるためにはどのようなことが必要だと思いますか。

あなたのお考えに近いものから3つまで選び番号に○印をつけてください。

「育児休業や短時間勤務などの仕事と家庭が両立できる制度を充実する」の割合が40.4%と最も高く、次いで「仕事と家庭が両立できる制度が利用しやすい職場の雰囲気づくりをする」の割合が34.7%、「結婚したり出産したりすると勤めにくいような慣習を改める」の割合が31.1%となっています。

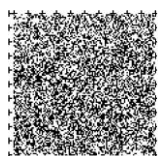
性別でみると、「育児休業や短時間勤務などの仕事と家庭が両立できる制度を充実する」の割合は、女性が43.9%、男性が35.6%で、女性が男性より8.3ポイント高く、「仕事と家庭が両立できる制度が利用しやすい職場の雰囲気づくりをする」の割合は、女性が38.2%、男性が30.3%で、女性が男性より7.9ポイント高くなっています。また、「結婚したり出産したりすると勤めにくいような慣習を改める」の割合は、男性が33.7%、女性が29.3%で、男性が女性より4.4ポイント高くなっています。

性・年代別でみると、「結婚したり出産したりすると勤めにくいような慣習を改める」の割合は、男性では60歳代が41.2%で最も高く、次いで10・20歳代が38.6%となっています。女性では10・20歳代が39.6%と最も高く、年代が高くなるほど割合は低くなっています。「育児休業や短時間勤務などの仕事と家庭が両立できる制度を充実する」の割合は、女性では30歳代が59.6%で最も高く、次いで10・20歳代が48.5%となっています。男性では30歳代が47.5%で最も高く、次いで60歳代が42.6%となっています。「仕事と家庭が両立できる制度が利用しやすい職場の雰囲気づくりをする」の割合は、女性では40歳代が47.2%と最も高く、次いで30歳代が45.9%となっています。男性では、30歳代が42.4%と最も高く、次いで40歳代が34.8%となっています。

性・職業別でみると、女性では「育児休業や短時間勤務などの仕事と家庭が両立できる制度を充実する」の割合が、自営業（家族従事者含む）の51.9%、主夫・主婦の48.6%、正規雇用労働者（会社員・公務員など）の45.8%などの多くの職業で最も高い割合となっています。男性では「結婚したり出産したりすると勤めにくいような慣習を改める」の割合が、農林漁業（家族従事者含む）の40.0%、学生・高校生の39.5%、非正規雇用労働者（契約社員・パート・アルバイトなど）の38.6%、正規雇用労働者（会社員・公務員など）の35.3%など、多くの職業で最も高い割合となっています。

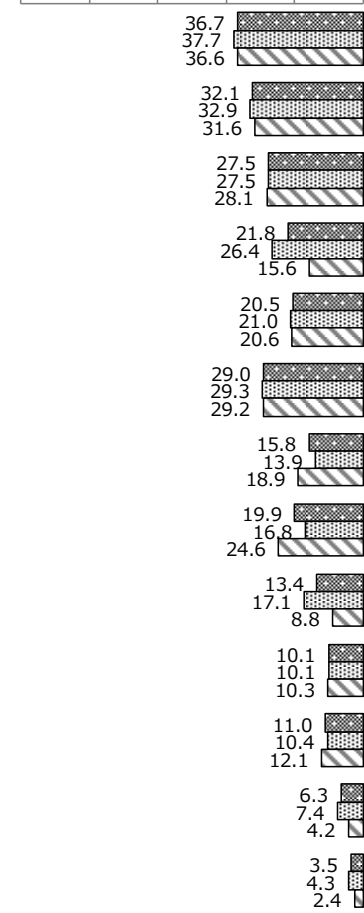
令和元年度調査と比較すると、女性では、「育児休業や短時間勤務などの仕事と家庭が両立できる制度を充実する」が6.2ポイント、「仕事と家庭が両立できる制度が利用しやすい職場の雰囲気づくりをする」が5.3ポイント、「結婚したり出産したりすると勤めにくいような慣習を改める」が1.8ポイント増加し、男性では、「結婚したり出産したりすると勤めにくいような慣習を改める」が5.6ポイント増加しています。

※性・年代別、性・職業別集計…P203・204



【久留米市（令和元年度調査）】

%
100 80 60 40 20 0



■全体(回答者数=1,114)

■女性(回答者数=632)

■男性(回答者数=456)

2.2
1.7
3.1

2.3
1.6
3.3

2.2
1.6
2.6

8.7
7.0
9.4

育児休業や短時間勤務などの
仕事と家庭が両立できる制度を充実する

仕事と家庭が両立できる制度が利用しやすい
職場の雰囲気づくりをする

結婚したり出産したりすると
勤めにくいような慣習を改める

残業や休日出勤ができないことで不利な扱いをしない

労働時間の短縮や在宅勤務などの普及など、
多様な働き方の見直しを進める

結婚・出産・介護などの都合でいったん退職した
女性のための再雇用制度を普及、促進する

賃金の男女格差を改める

女性の能力を正に評価し、
積極的に管理職に登用する

男性の家事・育児・介護などへの
参加を促すための啓発をする

昇進・昇格の男女格差を改める

職能訓練や研修を行ったり、挑戦の機会を設けたり
するなどの女性の能力向上を図る

女性が働くことについて、上司や同僚の認識を改める

求人・職業情報を積極的に提供する

リスケリングなどの機会の提供

職業生活を続けていく上での相談窓口を充実する

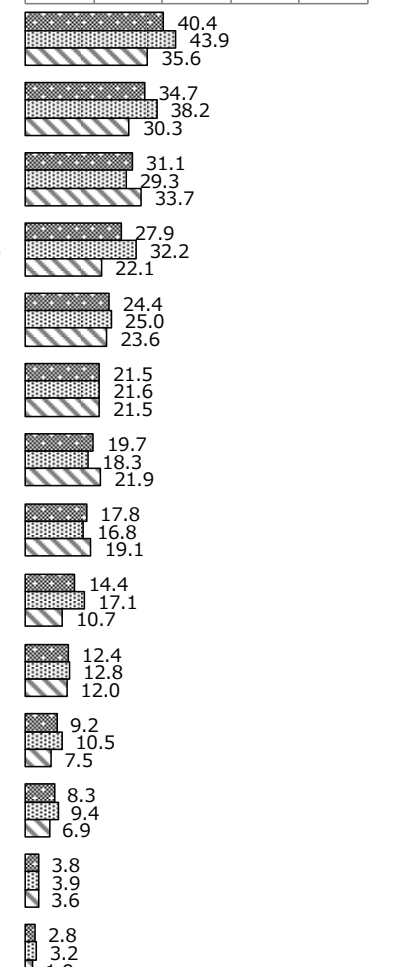
特に無い

その他

無回答

【久留米市（令和6年度調査）】

%
0 20 40 60 80 100



■全体(回答者数=1,120)

■女性(回答者数=649)

■男性(回答者数=466)

2.7
2.6
2.8

3.8
3.1
4.7

2.1
1.8
2.4

9.3
9.2
8.8

